新京日日新聞
夕刊
十二月十二日
本紙定價 一ヶ月一圓五十錢 一部五錢 / 廣告料 普通一行一圓五十錢 特別二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話③二五〇五・三三〇〇
發行人 十河榮忠 / 編輯人 和波露 / 印刷人 水越内之介

ソ聯軍の西北進駐により支那空軍完全に赤化
わが爆撃目標重大轉換

【北京十二日發國通】今次事變以來わが陸海空軍は支那各地において赫々の武勳を樹て戰前蔣介石が營營苦心して建設しその實力を誇稱せる敵空軍を完全に潰滅せしめ蜿蜒數千キロに亙る廣範圍における絶對的制空權を獲得したのであつた、然るに蔣介石は敗戰の原因は支那空軍勢力の劣勢に起因するものとなし强力空軍を再建してあくまで抗戰を繼續すべく去る五月の最高國防會議において

一、第一線飛行部隊を强化新式機五百機を購入する
一、國内に飛行機製造能力を擴充する
一、右資金として六億元の航空公債を增發する

の三ケ條を決定、爾來空軍の擴充に必死の努力を傾倒し來つたが、從來積極的に支那空軍援助をなし來つた英米佛は今次歐洲大戰の結果援助を繼續し得ぬ情勢に立至つたので蔣は專らソ聯に賴りソ聯より赤色ルートを經て入手せる戰鬪機及び長距離爆擊機をもつて奧地の重要都市の防空は勿論積極的に進攻作戰を企圖しわが占領地域内の爆擊をさへ決行せんとする氣勢を示すに至つた、而して現在蘭州及び昆明は支那空軍再建のための重大ポイントとして重視され、前者はソ聯に、後者は英佛に依存して兩地において航空士の訓練、機體の裝備に大童となつてゐるが、更にこの他蘭州、成都、昆明、重慶、四川省南川には相當大規模の飛行機製作機關を有し、新銳機を續々組立中である、殊に蘭州は支那空軍の中心地であり去る九月中のみにてもソ聯より二百臺以上の軍用機が同地に空輸されてゐる、しかるに最近に至り國共の離反、ソ聯軍の西北進駐は必然的に支那空軍勢力に新たなる紀元を劃し最早完全に赤化されソ聯軍の西北進駐の前進基地とも目されるに至り確報によれば同地は支那軍國境警備隊以外にソ聯赤軍航空隊を以て防衞されてゐる實情でありソ聯空軍の蘭州分遣隊は僅か數ケ月前の四ケ分隊十六機に比して數倍に擴充されてゐるものとみられてゐるかくて今や蔣介石が企圖せる空軍再建は全くソ聯空軍の進出と變貌するに至りわが軍は蔣介石の空軍のみならずその背後にあるソ聯空軍の重壓に對して儼たる空の護りを遂行すべき重大時期に當面した、この間にあつてわが陸海の無敵空軍は長驅重慶、成都、蘭州と敵空軍據點を連續的に爆擊これに多大の損害を與へて完全なる制空權を把握してゐる

欽州(東北)の敵軍猛爆
陸軍部隊進擊に協力

【上海十一日發國通】艦隊報道部十一日午後四時發表＝南支方面に活躍中の海軍航空部隊は一昨九日陸軍部隊の進攻に呼應し欽州東方の敵據點牛岡圩および上牛圩を攻擊、敵の熾烈なる防禦銃砲火を制壓しつゝ敵集團を爆擊せるほか彈藥庫を爆破炎上せしめたり

大別山系の敵遊擊隊を連爆

【〇〇十一日發國通】最近敵遊擊隊長李品仙麾下の豫鄂皖(河南、湖北、安徽)邊境遊擊軍大集團が京漢線東側大別山中の七里坪(黃陂北方七十五キロ)および烏羽城(七里坪西方十六キロ)に潛入、蠢動中との報にわが陸の荒鷲今西部隊佐渡編隊長指揮の〇〇機は十日午後二時半これを急襲、部落に潛伏中の敵大部隊に猛爆を加へ敵はたまりかね部落を飛び出し附近の田の中を右往左往しわが荒鷲はこれに連續爆擊を加へると共に果敢なる低空飛行を敢行機銃の掃射を浴びせて徹底的に潰亂せしめたが、同荒鷲隊は十一日拂曉悪天候を冒して再度七里坪を急襲大別山中に遁入せんとしつゝある敵殘存部隊を猛爆これを潰滅せしめた、また十日午後三時森玉部隊是松編隊長指揮の〇〇機は鄂州西北方地區に蠢動中の敵大部隊に對し數次に亙つて反復爆擊を加へ殲滅せしめた

瀨谷中將歸京

【東京國通】徐州會戰に、武漢三鎭攻略戰に大陸の戰野に轉戰赫々たる武勳を樹てゝ後北支の治安に任じてゐた瀨谷中將は軍狀奏上のため十一日午後三時廿五分東京驛着富士で帝都に晴れの歸還をした、驛頭には陸大藤江中將外將星多數の出迎へあり、同中將は「何の感想もない、唯生命を賭して戰つた部下に對し手を合せて心から感謝してゐる」と言葉すくなに語り直ちに參謀本部に向つた、同中將は來る十四日退京の筈

外務辭令

【東京國通】外務省辭令(十一日)
陸軍步兵大佐 河村參郎
支那事變被害調査委員會幹事被仰付
陸軍航空兵大佐 有末精三
支那事變被害調査委員會幹事被免

糧穀會社增資

政府は去る十一月一日施行の主要糧穀統制に即應して糧穀株式會社法を改正して現行統制品たる米穀の外に高粱、包米、粟をも統制品目として取扱はしめ、同時に資本金を一千萬圓より三千萬圓に增資(政府全額出資、二分の一拂込)理事を五人以内より八人以内に增員する事となり同改正條例は十一日の國務院會議へ上程可決を見た

滿洲國明年度豫算
第二次查定を終了

明年度豫算編成を急いでゐる主計處では各部よりの猛烈な復活要求に對し更に嚴重查定を行つた結果、此の程漸く第二次查定を終了、目下計數整理を行つてゐるが、明年度豫算編成に當つては查定基準を

一、國軍の整備充實と國防態勢の完備、二、開拓民政策の强化徹底、三、北邊振興工作の發展助長、四、民生振興施策の完遂、五、修正產業五ケ年計畫の促進實現

の五點に重點を置き一般行政費乃至不急事業費目は極力これが節約をはかり所謂合理的積極財政主義に則つて普通收入の增大に即應した豫算の編成に努めた處に主計處の苦心があり明年度豫算の特色がある、而して一般會計は大體五億七千萬圓特別會計は廿億程度と見られ、かゝる歲出豫算の膨脹にかゝはらず歲入豫算に於ては一般會計の起債額、六年度(六千五百萬圓)に比し僅か約一千萬圓程度の增加に抑へ、專ら自然收入の增加に依らしめてゐる、一方官業及特別資金の增大化に伴ひ特別會計總額は逐年增加の一途をたどりつゝあるが、來年度は國內開拓民助成事業、禁煙の二特別會計が新設され總額廿億餘に及び特別會計費目は廿六に達することゝなつた

武器輸送說を獨、正式に否定

【ベルリン十一日發國通】ソ芬開戰以來ドイツを通じての各國の對芬武器輸送說並に最近のドイツのフインランド軍事援助說が傳へられてゐるが、ドイツ政府は十一日「かゝる報道は全く事實無根なり」と次の如く正式否定した

過日來新聞により流布されてゐるドイツの對芬軍事援助は何等根據なきものであり、ソ芬開戰以來軍事資材がドイツから又はドイツを經由してフインランドに送られた事實はない、又イタリー機がドイツの上空を經由してフインランドに空輸されゐる等許可したこともない

聯盟對ソ要求 即時休戰を通牒

【ジュネーブ十一日發國通】聯盟特別委員會は十一日午後スウェーデン代表の提議に基きソ聯に對しフインランドと即時休戰し、ソ芬紛爭を總會の特別審議に附託せよとの通牒を發送した、右通牒は二十四時間以內にソ聯の回答を要求した頗る强硬なものである

芬軍反擊

【ストックホルム十一日發國通】十日附アフトンブレード紙ヘルシンキ特電によれば、同日フインランド軍はラドガ湖北方でソ聯軍に反擊を加へスオミサルチ市を奪還したほかカレリア地峽でも各所で果敢なる白兵戰を演じ數ケ所の陣地を奪還した模樣である

長谷川少佐新任
關東軍報道班長更迭

關東軍報道班長加藤義秀中佐は今回報道班長の任を解かれ、後任には前陸軍省情報部勤務長谷川宇一少佐が就任した

▽前關東軍報道班長加藤義秀中佐は本年三月フインランド駐在武官より關東軍報道班長に轉じたもので、任期は十ケ月近くであつたが此の間ノモンハン事件勃發、多難な支那事變の推移等に關し關東軍報道業務の極めて重大性を有した時期に當つてよく大局的な見地から弘報宣傳を指導し眞摯なる態度と相俟つて部内外の好評を博してゐたものであつた、今回報道班長のバトンを長谷川少佐に讓り、更に重要軍務に專念することになつたものである【寫眞上】

▽新報道班長長谷川宇一少佐は宮城縣生れ陸士卅一期出身今回の定期異動で陸軍省情報部より關東軍入りをした、任官後帝大英文科に學び軍人としては特異な方面を研究してゐるが、風格は寡默重厚な典型的武人タイプ、本省情報部では主として企畫資料方面を擔當し既に報道關係に於ける豐富な經驗を積んでをり、東亞新秩序建設途上に於ける滿洲國の役割が一層重且大となつてゐる今日新班長の手腕を大いに期待されてゐる【寫眞下】

天津問題協議

【東京國通】英國大使館一等書記官ゴアブース氏は十一日午前十一時外務省に東亞局青木事務官を訪問、天津の治安問題に關し約一時間半に亙つて協議を遂げた

殺風陣

汪精衛の中央政權も成るか成らぬかの如くして成らず却つて揣摩臆測の種を蒔くは甚だ面白くない▼由來日本人的な考として大物擔ぎの弊ありそのために潑剌たる新人の進出を阻む上にインテリ大衆の支持と自奮とを失つてゐる▼昔は英雄偉人で事が治つたが近代は組織の方が强く周圍の支持があれば平凡人でも結構やつて行ける▼老と猶は紙一重であり大衆の一顧もせぬ老人を擔いで煮湯を呑まされるよりは純眞な若者を押立てて組織の力で盛立てる方何ぼうか仕事が捗取る▼北支にしても平生鈕三郎を手玉に取る程の老政治家を引張り出した結果は案外千萬の事だらけで工作必ずしも意の如くでない▼滿洲建國は其正反對を實證したもので朝鮮併合當初の如く伊藤、曾禰、寺內類似の老大家を煩はすでもなく殆と無名の若手のみで今日を致した▼星野君など現在では押しも押されもせぬ一流政治家となつたが渡滿の際には大藏省でこそ俊才の名を得たとなき無名の一吏僚に過ぎなかつた▼組織が强化されれ天下から見ればそこはかとなき無名の一吏僚に過ぎなかつた▼組織が强化されれば上に立つ者を支持して居れば如何でも成績は擧ることと滿洲國が最も手近かな實例だ▼にも拘はらず事支那に關すると妙に舊時代的錯覺がくり返され煮え切るものが煮え切らず何時になつて事變處理が出來るものか安心の與へらるるものが少い▼現在の支那を以てしては中央集權など思ひも寄らず實績を擧げんとすれば小口なし崩しの地方分權に限り中央政府は只外交の表面對象たるに過ぎぬ▼汪政權を兎や角いふにあらず況んやその成立のおそきを日本人的の氣短さであげつらふのでもない要は新支那は新支那人をして建設せしめよといふにある▼それにしても滿洲國も新人次第に舊人となり老大家と變じては潑剌新鮮の飛躍に停頓を來さぬと限らぬ▼星野長官などに如才のある筈もないが凡そ新人の新工夫に耳をかたむけることを夢怠るまじく近代の組織政治が現在ではスターリン・ヒトラー・ムッソリーニに見る如く英雄政治のカクテールになりつゝあることにも注意されたく▼組織が人を作るか人が組織を作るかは尚ほ考ふべしとして人と組織の一致が望ましい▼聖人はひからびて夢を見ることなく若者に夢が多いこの夢を用ゐずして世界の轉換はあり得ない▼人の振り見てわが滿洲國の更に手に唾して飛躍すべきことを思ふのだ

ドイツ突擊隊の奮戰

市民講座
滿洲國に於ける觀光事業とは?

新京觀光協會主事 細川虎太郎

觀光事業とは觀光客を誘致する仕事、そうしてそれ等の觀光客の消費によつてその土地、その都市の繁榮が生れてゆく——これが觀光事業についての一般の常識だ。ではその目的は單に都市の繁榮策にのみ止まるかといへば否々、かうした經濟的利益は決して觀光事業の本流ではなくいはば派生的のものなのである。そこで觀光事業の本質について一應檢討して見やう。

「觀光」といへば往々「遊覽」といふ意味に解され易い。この二つの言葉の意味は兎も角として、事實日本內地に於ける各地の觀光事業について見ると、中には三味や太鼓で囃し立てることを以て觀光客誘致の最上の手段かのやうに心得てゐる向きが尠くないやうである。所謂觀光都市などといつて威張つてゐる溫泉場などにゆくと誰しも見せつけられるところだ。それは土地の繁榮策のみを唯一の目的とする或る地方にあつては、蓋し當然のことゝもいはれるであらう。が然しわが滿洲國に於ける觀光事業は日本內地に於けるそれとは本質的にその趣を異にしてゐるのである。

【】【】

あり態にいへば滿洲國に於ける觀光事業は平時といはず非常時といはず唯だ國策の一線に沿つて進むべきである。そこで滿洲國に於ける觀光事業の主目的は奈邊にあるかといへば、觀光客を對象としたる國策宣傳事業であるといふ點に最も重要の意義を見出すのである。即ちわが國都を訪れる內外觀光客に對して滿洲建國の精神を徹底せしめ、躍進滿洲國の實體を現實に紹介し以て彼等に滿洲國についての正しい認識を與へ歸らすことが第一義的の目的なのである。この意味に於て從來の如き鐵道を主體とした日本流の考へ方は疾くに時代遲れであり、現下の情勢とは到底相容れないものである。

最近國都新京を訪れる觀光客は恰も洪水の如くに殺到しつゝある、これを建國當初に較べると正に幾十倍の激增振りで、殊に本年に入つては旅館と名のつく旅館はいづれも超滿員の態である。これは昨年事變勃發とゝもに一時觀光を見合せた反動もあつたではあらうが、しかし如何に日本國民が大陸に重大關心を持つて來たかの大きな現れである。而して遙か滿洲を目指して押寄せる彼等の觀光目的は一體何處にあるかといへば恐らくその全部は單なる遊覽ではないのである。

一般客にしろ或は學生その他の團體客にしろ、彼等の殆ど全部は滿洲を知らんがために、言ひ換へれば滿洲國の實體を把握せんがために來ると見るのが至當であつて、彼等に滿洲建國の理想を說き、その實狀を紹介する事は取りも直さず彼等の要望に添ふ所以であり接客上から見ても何よりのサービスでもあるわけだ。そこに滿洲國に於ける觀光事業の特異性があり、重要性があるのである。

【】【】

かくいへば滿洲國に於ける觀光事業はたゞ國策宣傳のみにして他に何ものでもないかといふと、それは一眼的の見方である。觀光客を知つて二を知らざる近視眼的の見方である。觀光客を迎へることによつて受くる經濟的利益は鐵道といはず、商船といはず、旅館、おみやげ店、市內交通機關は勿論、間接には市民全體が受けることになるのである。いはゞこの崇高なる目的を遂行することによつて派生的に利益は生れ其の土地が繁榮することになるのである、而してこゝに特に附言して置きたいことは觀光事業の經濟的効果の及ぶところは旅館や、交通會社や、おみやげ店のみでそれ以外は何等利益を得ないのみか、却つて迷惑に感ずるといつた考へ方がある向きはないではない。がその土地に於ける金の行方を考へるとこの見方の誤りであることが簡單に知れるのである。

例へばある旅館に客が泊り一日五圓の宿料を支拂つたとすると、この金は全部旅館の主人の懷中に納まるのではない。宿屋で食べる米代、野菜代、肉代、魚代はいふまでもなく、その設備である食器、蒲團、丹前に至るまでこれは旅館自らが作るのではないであらう。恐らくその土地の商人から買入れるのであるからそれ等の人々も當然利益を受けることゝなるのである。その他電氣料もあれば、水道料もあり、疊替もあれば、家の修繕もあるといつた具合で、かう考へると五圓也の宿料の殆ど全部が市內各方面のそれぞれの人に分配されるのである。

また土產物においても同樣で、おみやげを賣る利益は唯だ單におみやげ販賣店や製造業者のみに止まらない。これによつて各方面の產業が生れ、皆が利益を得ることになるのである。

【】【】

なほこれを國家的に見ると無形の輸出ともなるわけで、この種の金が增加すると輸出關係によつて不利益となつてゐるものがこれによつて補はれ、却つて利益が殘るといふ結果にもなるわけである。現在日本に於ける外人の消費額は年額約一億圓といはれてゐる。この數字は日本の貿易上からいつて非常に大きなもので絹絲、絹製品、綿絲、綿布類に亞ぐものである。更に多數外人が來ればその國の物產を紹介する機會が多くなり、本國に歸つて宣傳するから、國產品が次第に多く賣れ、從つて輸出貿易が盛んになるのである。かくて觀光事業の經濟的利益は根本觀念からいへば派生的で、副產物に過ぎないが、その結果たるや實に重要な意義をもつのである。

人事往來

着京

▲森鷹三氏(會社員)十一日來京ヤマトホテル
▲田中常太郎氏(同)同
▲富迫兼義氏(同)同國都ホテル
▲岩川實氏(華豐煙公司)同
▲竹岡信三郎氏(商業)同
▲山口駒吉氏(同)同
▲庄野茂實氏(同)同
▲吉野正氏(滿鐵社員)蓬萊ホテル
▲鈴木義夫氏(官吏)同
▲羽田新三氏(會社員)大都ホテル
▲折川正造氏(同)同
▲長井敏三氏(商業)同
▲榎本典生氏(滿鐵社員)同
▲宮崎良治氏(帝蓄社員)同
▲本庄二郎氏(同)同
▲龜田喜久美氏(編昌公司)同
▲荒川傳七氏(會社員)三國ホテル
▲田島大治郎氏(鹿島組)同
▲佐竹健三氏(鞍山製鋼常務取締役)同
▲百々豐氏(大記洋行)同
▲多喜六次郎氏(化學工業)同
▲上中甲堂氏(八幡製鐵所)同
▲廣崎行雄氏(奉天大倉組土木部長)同
▲山本榮助氏(東洋木材)同
▲松隈光郎氏(昭和製鋼)同
▲高木吉次郎氏(同)同
▲森傳吉氏(本溪湖煤鐵公司)同
▲小貫太重氏(滿日亞麻會社)同
▲岡田靖治氏(東邊道興業會社)同

出發

▲安川金次郎氏 十一日奉天へ
▲恒眞氏 哈市へ
▲山口博司氏 同
▲白濱多次郎氏 同
▲柳谷后部氏 同
▲中島勝次氏 北京へ
▲木村寅太郎氏 奉天へ
▲石井昭次見氏 哈市へ
▲藤田秀夫氏 敦化へ
▲會根一雄氏 鞍山へ
▲靑木善太郎氏 大連へ
▲高木喜三郎氏 同
▲佐藤長三郎氏 哈市へ
▲長谷川孟夫氏 同
▲石田嘉彥氏 同
▲三島誠一氏 同
▲佐藤正夫氏 大連へ
▲古川新作氏 延吉へ
▲秋山和夫氏 奉天へ
▲大久保讓氏 鞍山へ

その曰く

物が足りないのではない生活の智慧が足りぬのだと言はう
◇
智慧とそして確乎たる心構へこそが肝要なのだと言はう
◇
論者・解說者が忘れるよりも實踐者を以て滿されなければならぬ
◇
依然低調なるものに巷の歌がある、これまた智慧の無い話
◇
作詞者・作曲家みんな一束にして再教育を施して見るか

捌けぬ抽籤券
も一つ活氣が出ないが……こ
商店街焦り氣味

早くも師走の月はその前半を終はらうとしてゐるが、自肅自戒の非常時局は市民の胸底に強く打ち込まれてゐるのか、例年ならボーナス景氣に活氣づく國都商店街もうら寂しい感を與へてゐる、ことにボーナス袋にふくらむ市民の懷中からうんと搾りとらうと意氣込み興銀儲蓄債券及び商品券空くじなしと言ふ威勢のいゝ景品附の商店聯合會大賣出しも「どうも活氣が出ません」と業者はこぼす芳しからぬ成績である

即ち抽籤券の今日までに捌かれた數を見ると金泰百貨店の約一萬組を筆頭に平本洋行二千組菓子商峯長春堂、文房具商林洋行、村岡呉服店等それぞれ一千組と言ふ情勢である

だが本格的歳末景氣はボーナスの支給を開始される年の瀬までの後半にあるのである、そして商人には絶對に逃せぬ書入れ時とあつてゴールの一瞬までと一段の拍車をかけてゐるが、商店街の中心吉野銀座共榮會ではかねて當局の認可を得、中央通及び祝町の兩入口に十二日から〃歳の市〃のアーチを建設、暮れ行く街に色彩を添へ歳末商戰に積極的に乘り出した、自肅自戒の年の瀬はどんな景氣をもたらすであらうか、ともあれ街は日一日慌しさを増しつゝ多事多難昭和十四年のゴールを目指してまつしぐらに突進して行くのである【寫眞は吉野町のアーチ】

大臣もナス貯蓄
司法部分會の富家强國運動

協和會首都本部主唱の富家强國運動旬間は十一日から國都各分會において一齊に行はれてゐるが、司法部分會では期間中を左の通り區分し張大臣以下全員既にこの運動を實踐に移してゐる

△第一日（十一日）節煙日△第二日（十二日）早寢早起、徒歩通勤日△第三日（十三日）高粱試食日△第四日（十四日）酒なし日△第五日（十五日）第二日に同じ△第六日（十六日）第一日に同じ△第七日（十七日）燃料節約日△第八日（十八日）第二日に同じ△第九日（十九日）第四日に同じ△最終日（廿日）賞與貯蓄日

このほか同分會では年末年始の贈答年始週りも廢止することになつてゐる

民生部機構擴充强化
教化厚生部門の諸施設强化へ
明春一月期し實施

滿洲國では産業開發五ケ年計畫と照合し國内の人的資源の確保、民生向上、特に教化厚生部門の諸施設の强化を期し豫て計畫をすゝめて來たが、これが實現を期するため民生部機構を大々的に强化擴充することゝなりその要綱案が十一日の國務院會議を通過し、更に具體案を練り明春一月を期して實施することゝなつたがその大綱は次の如くである

一、教育司は教學官を設け督學官室を統合す、教學官は教育内容に關する諸般の調査學事の支持を行ひ教學方針の確立を圖る

二、地方教育機關を確立社會司の一部を勞務司とし國内勞力の統制、配分、勞力資源を培養、勞務行政を全からしめるため地方勞務行政を整備する

三、社會司を厚生司と改稱擴充、民生の改善、生活保護、軍人援護、禮會教育、宗教、祭典、國民文化等の物心兩面の社會行政の强化を圖る

四、保健司を擴充整備し體育を通じて人心の潑剌明朗を期す

竊盜犯捕る 十二日午前二時頃中央通署孫、呂寶、尙四刑事は入船町四丁目附近を密行中擧動不審の一滿人を發見誰何すると逃走せんとするので追跡同町十九番地先で逮捕連行した右は河北生れ住所不定何藤候（四四）と云ひ、同署で竊盜犯として指命手配中のものなること判明した

即ち何は昨年十二月五日午後十時頃勤め先の入船町四ノ十九王繩武（七〇）さん方に不在中を奇貨に侵入、金庫を破壞して現金三千圓を竊取逃走したもので、捕へられた時には無一文となつてゐた、目下餘罪を峻烈に追及してゐる

三人組鐵筋泥棒 十一日午後九時頃小五馬路街八十一號ボロ買李玉琢（二八）山東省生れ平治（三七）同楊古灘（三三）で十一日午後七時頃李と楊は高と結託して南新京西松組建築資材置場から鐵筋六百斤（約一千圓）を竊取した事を自白した

附近を密行中の四道街署宋、王三刑事が山豐洋行古物商趙儒林（三九）方に鐵筋を賣買してをる三人連の滿人があるのに不審を抱き本署に連行取調べた所山東省生れ東四道街孫家館子内西松組夜警高廣田

糧穀會社への非難昂まる
業者側の諸陳情に殆ど耳を藉さず
今後の措置重視さる

糧穀の配給をめぐり糧穀會社と新京精米業者との深刻な抗爭は遂に糧穀會社員の瀆職問題まで引起し國都市民の食糧問題に關係するだけに其成行はすこぶる注目せられてゐる、右は既報の如く市内二十九軒の精米業者をして組織せる米穀配給組合が糧穀會社より引受け各個業者に割當を行ふべきところ新米の出週期である九月より今日に至るまで配給組合を除外し業者の内特に三軒と特約し他の業者に全然糧を配給せずして前記三軒のみに賃搗を行はしめて居たので、先般業者が結束して死活問題を叫び關係各方面に陳情善處を要望するに至つたのであるが、其の後米穀配給組合が第一期分來年三月までの新京地區の需用額を希望數量として會社側へ配給方を懇請したが會社側ではそれに對し餘りにも掛離れたる數量を示したのでその前後策を練るべく去る十日國防會館で組合第一部總會を開き次の事項に關し決議を行つた

一、糧の配給要求額從來要求し來つた六萬噸を特に讓歩し四萬二千噸に要求額を引下げこれを最少限度として配給方を會社に交渉する事

二、糧の配給は即時配給せらるべき事

三、各業者へ糧の配給比率は市公署及會社に一任すべき事

四、轉業者の救濟、今回政府の方針として採つたる七分搗制度により業者の內機械の樣式により七分搗か不可能なる店は十六軒あり必然的轉業の餘儀なきに陷つてゐるので特に左に關し當局の善處を要望右十六軒に對して七分搗に要する機械輸入方法を講ずるか若しそれが不可能なれば他の方を考慮せらるべき事

引續き同日午後一時より懇談會に移り産業部より鷲足技佐、市公署より一由事務官、糧穀會社側より本店小松常務理事、新京支店外山支店長其の他出席前述の決議事項に基き協議を行つたその結果は

一、糧の配給要求額四萬二千噸は會社として不可能であるとしその原因は多く抽象論に終り

一、配給比率に就ては政府の命令を受けて會社が査定しその方法は當分の間一日二、三軒づゝ順當に配給する事

一、轉業者は種々の方法を政府に於て講じられてゐる等

を業者側に傳へたが結局當面を一時糊塗する方針にしかすぎず來るべき問題は今年は新京地區に於ては豐作であつた事に糧穀會社の設立によつて今回の問題を引起し今後會社の動行及轉業者の處置等が重視せられてゐる

官吏の生活安定に
二千萬圓支給
政府の溫い親心

滿洲國政府は此度下級官吏の生活改善を期し十一月の國務院會議に臨時生計津貼支給要綱を通過せしめたが右は就物價政策の叫ばれてゐる折柄一見政府の物價政策に相反するが如く見られるも現在の人口政策上下級官吏の生活安定は絶對に必要なものとされて居り全滿二十萬人の下級官吏に對し二千萬圓の生活津貼を支給することゝなつたのである、なほ支給要綱は次の如くである

一、下級官吏とは百五十圓以下の委任官試補、囑託員、雇員、傭員をいふ

二、家族との割合（三人以下の場合）月給百三十圓以上十圓、百圓以上十二圓、七十圓以上八圓、四十圓以上六圓、四十圓未滿四圓（四人以上の場合）月給百三十圓以上十五圓、百圓以上十二圓、七十圓以上十圓、四十圓以上八圓、四十圓未滿六圓とす　單身者の場合、百三十圓以上に支給せず百圓以上五圓、七十圓以上四圓、四十圓以上三圓、四十圓未滿四圓

三、家族とは本人と同居し扶養を受ける配偶者、直系尊屬を謂ふ、內縁の妻は職務長官の承認により支給、十八才以上六十才迄の男子にして自活し得るものは除く

四、月收百六十圓の委任官手當の合計が百五十圓を受ける者より少くなる場合はその差額を支給す

訓練の實發揮
鐵道警護隊巡閱

新京鐵道警護隊の定期巡閱は十二日午前九時より同隊に於て擧行された、定刻橋本隊長以下受閱隊員二百八十名武裝にて嚴寒もものかは廳舍前に整列すれば巡閱官三浦總監は羅士雯路、千葉庶務、村田特務各科長らの隨行員を從へて閱兵を行ひ、次で總監は隊長室にて橋本隊長より管內の狀況報告を聽取の後廳舍內外の巡視、各係室の書類檢査を順次行ひ同十時五十分休憩

續いて同十一時四十分隊前庭にて受閱者點檢を隊長指揮の下に行ひ終つて私服、內勤、直轄、公主嶺地區、開原地區各員の勤務研究をなし晝食休憩午後一時より巡閱官一行によつて巡監は隊長室、巡長巡警は講室でそれぞれ試問が行はれ、同一時三十分より警察係員、同二時三十分より警備係員が二回に亘つて新京驛構內に於て日頃鍛錬の腕を振つて鮮かな實地演習をなし巡閱官一行を感嘆せしめて四時三十分一同講堂に集合、三浦總監より「成績概ね良好なるも時局下尙一層の奮勵を望む」との講評あつて五時終了した

歸へらぬ娘 羽衣町四ノ二三大森茂さん方川上マチ子（一六）さんは十一日午前十一時二十分頃家人に郵便端書を出して來るといつて外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので大森さんは十二日中央通署へ捜査方を願ひ出た

家族數誤魔化しては不可ん！
糯米配給申込注意

お正月用糯米の配給は一人當り七合＝配給申込券が配布されて米穀配給組合や菓子商組合員では受付に轉手古舞の忙しさだが、配給を多く受けるために家族數を誤魔化す者もあるので市公署實業科では嚴正な申込をされたいと希望してゐる

寶山で萬引 十一日午後六時十五分頃新發路一〇一號寶山百貨店洋品部前で店員の隙を窺ひ毛シャツ一枚（二十三圓）を萬引した一鮮人を同店店員吳占學（二六）君が發見新發路交叉點ラヂオ營業所前に於て引捕へ八島通派出所に突き出した、取調べの結果朝鮮咸鏡北道生れ住所不定李唐厚（二六）で外にもズボン下一枚（十圓）を竊取してゐた

やまと號 【大阪國通】大阪遞信局入電によればやまと號は十一日午後一時五十九分（滿洲時間）ハノイ飛行場に安着した

今尙猛威衰へぬ
國都の傳染病
昨年の五倍

今夏國都に猛威を逞うして幾多尊い人命を奪ひ今なほその止まるところを知らず十二月に入つてからも一日一名、二日三名、三日三名、四日五名、五日二名、七日五名、八日二名、九日七名、十日一名、十一日二名、計三十名これらは主として腸チフス、赤痢、パラチフスであるが何れも千早醫院に收容されてゐる狀態である、十二月十一日現在で市立衞生試驗所の統計になる全市本年中の法定傳染病發生數は赤痢が最高位の九二四、次で腸チフス二八五、猩

發生件數 紅熱二一九、パラチフス一一五、天然痘六五、疫痢二四、ヂフテリヤ二〇、發疹チフス一二、流行性腦脊髓膜炎五、コレラ容疑者三合計一六七八で

その中治癒した者一、四四八死亡して者一五三、目下入院治療七五、自宅隔離二となつてをり、昨年度發生件數に比較して驚く勿れ五位に達し順次その他も倍の數字を現はしてゐる

靴盜難者へ 去る二十八日午後十時頃四道街署に檢擧された鮮人六人組竊盜團の取調べは其の後同署に於て續行してゐるが市內各所から竊取した贓品中女靴約三十足及び男靴二十足に付いて未だ被害者の屆け出がなく同署ではその處分に困却してゐるので心當りの者は直ちに申し出られたいと

哲夫居所知ラセ
初　太郎
佳　雄
忠　雄

事情案內所
五十萬圓の株式會社に改組

滿洲國政府は國內の調査宣傳の徹底を期し大同元年設立せられたる滿洲事情案內所を改組擴充し、資本金五十萬圓の株式會社を組織、弘報處指導の下に積極的なる事業を開始することゝなつたが、改組後は

一、國內諸般の事情調査、宣傳

二、印刷物發行、販賣、諸種の資料整備、公開展示を行ふことゝなつてゐるが資本金五十萬圓は政府全額出資、第一回拂込二十五萬圓、殘り二十五萬圓は漸次施設の擴充、新規事業の都度に拂込みを行ふことゝなつてゐるが、同社は政府の監督に屬し取締役五名、監査二名を置くことゝなつて居り弘報處宮員室も新會社に引繼がれることゝなつてゐる

婦人講座 婦人講座第二回例會は來る十三日午前十時半から健全生活館に於て開催するが當日の育兒に關する講座課目は左の通りである

主として教育に付いて（船山榮七氏）主として醫學的に（齋藤五產氏）榮養學（中山美雄氏）

氷球新京代表 新奉對抗氷上競技に出場する氷球選手銓衡委員會は十一日決勝戰終了後國都グルリに開催、左の新京代表選手を決定した

代表　監督中島圭介△主將小須考吉▲選手「GK」女池賢吉（新商）柳田于男（同）「DF」伊藤直也（電業）西川幸正（西川洋行）吉武博（新商）「FW」大北川勉（同）松本勝次西貞夫（新商）佐々木統一郎（同）中鈴壙（同）小須考吉（郵政局）井出弘（新商）（鑛發）

故西田理事社葬 廿二日に變更

渡滿の途大連病院で急逝した滿洲電々理事西田猪之輔氏の社葬は二十四日と內定してゐたが都合により二十二日と變更同日午後新京本社で盛大に營まれることになつた

舊蒙古王公に 二百萬圓支給

蒙古王公に錦熱蒙地の舊蒙古王公をして管轄土地權を返上せしめた際政府は舊王公に裕生資金として公債六百萬圓を支給したが更に二百四十八萬圓を追加支給する事となり舊蒙古王公裕生公債法中改正の件は十一日の國務院會議を通過したので所要手續を經明年一月より實施する事となつた

・東安省廳舍落成式・東安省ではかねて新築中の廳舍竣工、來る十九日午前十時落成式を擧行する

・牡丹江國通支局竣工・豫て新築中だつた國通牡丹江支局では去る十一月卅日見事竣成、十一日午後三時から官民關係者多數參列のもとに新社屋において嚴肅な修祓式を執行した

久原總裁等滿支視察の途へ

【東京國通】政友會正統派總裁久原房之助氏は同黨顧問芳澤謙吉、大口喜六兩氏と共に十二日朝六時半羽田飛行場出發滿支視察の途についた、一行はまづ新京に赴きついで北京、天津、南京、上海と皇軍奮戰の跡を歷訪、更に支那要人と事變處理につき意見を交換し二十七日歸京の豫定である

御廚監理部長

御廚關東局監理部長は十一日午後十時五分新京驛を出發、北鮮三港、牡丹江、哈爾濱の各地を視察し二十日夜歸任の豫定である

團體往來（十一日）

▲奉天市公署見學團十五日午前九時卅分四平街へ▲濱江省地方職員訓練生午後十時三十五分哈市へ▲北滿電師道訓練生午後九時四分哈士市から

板倉滿鐵支社業務課長　日滿經濟懇談會出席旁々東京支社と連絡のため東上中であつた滿鐵新京支社業務課長板倉眞五氏は十二日午前八時着列車で歸任した

萬華鏡

石炭節約の國策線に闘つたのか扇芳會館のスティームが故障を起した、俄然寒波の襲來とあつて客席の隅々にカツ〳〵と炭火をおこした大火鉢を配置した近代的ホールにある日本火鉢、一寸嬉しいではありませんか「火鉢あるホール」なんて何かの題名になりませんか（そりや面白い、俺も行つて來ようなんて言つても、今からでは遲い、今夜あたり直つてゐる筈だ）▼でその嬉しい風景を紹介すると一寸こんな工合であつた、丁度土曜日、日曜日に當つてゐたので恒例の白のイヴニングであるがダンサー諸嬢みんなその上に思ひ〳〵の上衣や白ジヤケツなど着込んでゐるのであるたまに普通のドレス姿の子を見つけたりするが、それも踊つてみてよく調べてみると下にちやんと澤山着込んでゐるのである▼踊つてゐる中はまだよいが、ずつとシートをアツタメてゐると寒くなつてくるのかダンサー諸嬢ちよい〳〵席を離れて問題の火鉢の所へ集つてくる、かくて友は類をもつて集り、井戸端會議ならぬ火鉢端會議が始まるのである、とにかく嬉しい風景でした▼こゝの歌手が最近變つて東都から御目見得した宮下昌子嬢である、歌ひ振りは一寸聞ける、アチヤラ物が得意と見えて日本語の歌はあまり歌はないです特にタンゴが自慢とみえて彼女が歌ひ始めるとアルゼンチンのアルバムを展げたみたいださうである▼この子も寒い滿洲へ來たトタンにこのスティーム故障に會つてしまつてすつかり悲鳴をあげ一曲歌ひ終る毎に片隅へ行つてオーバーかぶつてブル〳〵、オーバー片手にジヤズバンドとタンゴバンドの間を往復してゐました

は文字通り多忙のうちに正月戰線水も漏らさぬ配置既にO・K！と張切つてゐる

中央通署員「鐵血慧心」觀賞

亡國的害毒を流す麻藥密移入業者ならびに密吸飲患者の一掃に晝夜分たぬ活躍を續けてゐる中央通署では、滿洲國警察官が惡虐極りない煙鬼の掃滅に挺身活躍するとゝもに王道警察の眞髓を發揮する樣を描いてゐる國策映畫滿映作品「鐵血慧心」が目下長春座に上映されてゐるのを機會にこれを全署員に觀賞せしめることとなり十一日午後一時三十分より市原署長以下百餘名の全署員交替で觀賞し、この恐るべき麻藥密移入業者及び密吸飲患者の摘發が如何に喫緊を要すべき重大事であるかを徹底認識せしめるとゝもに今後それら不正者檢擧の參考資料となすことゝなつた

雜音

豐樂劇場から寫眞替りといふ番組雜譯でもあるまいが「朱と緑」といふお古の大會、高峰三枝子、高杉早苗、上原謙、佐分利信といふ顏觸れに島津保次郎の名が加はつて、今ではもう「懷しの映畫」の方の部類に入つてゐるもの▼近頃の再映番組も少し考へてやる餘地はないものか▼帝キネの年內のプロは十三日からデュヴィヴィエ大會「望郷」と「モンパルナスの夜」十五日から「若い仲間」（東寶封切）とダリウ、ボワイエの「うたかたの戀」の再登場、これは女性ファンの要望に應へたものださうである▼次いで十九日から「スパイ戰線を衝く」と「國際間諜團」二十一日から「鄕愁」と南旺映畫「空想部落」（以上二本共封切）で、これは期待される取組みである▼續いて二十七日からはシモーヌ・シモン大會で「黑い瞳」と「みどりの園」二十九日から、ジャン・ギャバン大會で「どん底」と「我等の仲間」で、この兩番組通しの會員券を出して本年の打止めとする豫定

音樂院に初の滿人女性
洋樂部張泳琳さん

國立音樂院を目指して陣容の完璧近く樂員の技量も著しく向上し一路世界的水準を目指す新京音樂院に最近妙齡の一滿人女性が加はつて注目の的となつてゐる

張泳琳と云ふ十九歳の娘さんで天津生れ天津師範學校卒業の後、教員を振出しにアマチュア劇團に演劇研究を行つてゐたが後に滿映入となり一躍インテリ女優と認められた人である

新京音樂院では過般洋樂を如何に滿人に理解さすべきか考究中のところ圖らずも好適な條件を持つた張泳琳君を見出し今回同君の新京音樂院入となつた譯である

張泳琳君は元女優とは見られない質素な木綿服で毎月吉田牧枝女史のもとに聲樂を習つてゐるが最近張君の熱心な勉強振に感心してゐる吉田夫人も同君は歌手としての才能も充分あるとほめてゐる

同君は洋樂を滿人に理解せしめる爲めプロパカンダのみでなく滿系歌詞も作り近く洋樂にある情操的教育を以て滿人間に呼び掛けることになつてゐる【寫眞は張泳琳さん】

北米西部向け
滿映スターのxマス放送

「白蘭の唄」東京ロケに赴日中の滿映スター李香蘭は廿一日歸京するので新京中央放送局では過ぎ行く康德六年度のクリスマス・プレゼントとして廿六日午後三時卅五分から廿五分間李香蘭、李燕芬、白玫らの獨唱（曲目未定）を短波電波に乘せて北米西部向け對外放送を行ふことゝなつた

東寶新春作 一齊着手
張切る撮影陣

餘すところ年內僅かの日數各社それ〴〵正月の撮影準備を進めてゐるうち最も逸早くスタートをした東寶は瀧澤英輔演出の「御存知東男」の大半を進め愈々待望の長谷川一夫、岡讓二の初顏合ジーンに移つたが、更に新春の映畫界に君臨する「エノケンの彌次喜多」は岐阜京都のロケを終へ伊豆大仁に本隊を移動、快晴を利用して猛進行中、又「ロッパの新婚旅行」は有樂座實演中のロッパを巧みに使ひ分けて晝間セット撮影「隻眼の卷」を完成した「丹下左膳」は一日の休養もなく引續き大河內傳次郎以下全スター陣を以て「戀車の卷」撮影に活躍してゐるその他

島津保次郎監督の「光と影」は前後篇併立のまゝ輕井澤、神戶にセットに火の出る樣なハリキリ振りを示してゐる、東發スタヂオに於ける伏水修演出の大音樂映畫「君を呼ぶ歌」は渡邊はま子、勝太郎、藤山一郎等連日名歌手を迎へて順調早くも完成間近に迫つてゐるが更に浪界第一の人氣王天中軒雲月と花井蘭子主演「雪月の九段の母」は本讀みを終へ名調子の吹込みを準備されてゐる

又中支方面に遠征ロケ中の「快速部隊」は大場鎭の場面撮影終了の速報あり、本年掉尾を飾る東寶スタヂオ

近藤勇

橋爪彦七　西正世志畫

（八十八）

指責め（三）

俊太郎は、素足、身には縞間着の單衣一枚、皮肉にまで喰ひこむ繩目の痛さをこらへて、新選組の屯所へ曳かれるのである。
（破滅！）
心が暗い。
（同志は……）
これは、雇人を、秘密の通路から走らせたから、恐らく身をかくしたに相違ないが。
然し。
あの連判帳を……。
それを思ふと、魂が哭く
（誓つて！）
と、心で戒めたり、
（糾問の場で——）
と、瘦軀が、咎に堪へるかどうか、人間の弱點か、意志と肉とが、何處まで戰へるものか。
（武門！）

と、考へてゐるうちに、いつか屯所の門を潜らされてゐた。
暁の色が、漸次に滲み出してきて、仄明るい庭には數名の隊士が控へてゐた。
篝が、薄く燃え殘つてゐるのを見ると、屯所では、夜を徹してゐたものであらう。
土方歳三が、づかづかと出て來て、廊下から、
『あちらへ！』
と、繩尻をとつてゐる隊士に命じた。
俊太郎は、ちらと、歳三を見たが、胸を張つて、大股に、その前を通り過ぎた
（負けぬぞ）
鬼歯で、彼は、強い意志を一層強く噛みしめてゐた
庭に、履脱ぎと、その履脱ぎに庭下駄が並べられてあつた。
『坐れ』
と、隊士に背を突かれて俊太郎は、ぢろッと振り返つただけで土の上に膝を折つた。
發汗がしたので、顔をあげると土方歳三だつた。後には、沖田と永倉が、改服して從いてきてゐたし、隊士も二三人、控へてゐた。
『桝屋』
低いが、針のやうな歳三の聲が響いた。
俊太郎が、首を垂れたままでゐると、
『顔を上げぬか』
『——』
無言で、俊太郎が、歳三を見上げると、
『眞つすぐに申せよ』
俊太郎が、答へずに居ると、
『一味の居所は何處だ』
『……』
『桝屋』
『はい』
歳三の眼に、怒りが光つた。俊太郎は、その眼を、少しも恐れないで、正面から、ぢッと凝視てゐた。
『訊問になぜ答へぬ！』
俊太郎が、
『一味とか、居所とか——一向に手前は……』
さう云ふと、
『僞り者！』
聲を突ッ走らせて、
『桝屋喜九衛門とは素より假りの名、まことは古高俊太郎正順、生國近江國坂田の郡、かつては山科毘沙門堂門跡に仕へ、後して京に潜入、倒幕の不逞を企らんでゐたらう、どうだッ』
一氣に、云ひ盡して、鋭い眼で睨み据ゑた。
この時、俊太郎の顔に、少しづつ、微笑がのぼつてきた。
『恐れ入つたお調べです、いかにも拙者は古高正順、近頃覇道の非を悟つて、いささか王道の——』
『默れッ』
歳三が、一喝した。
『問ふに落ちず語るに落ちるとは汝のことだ。云へ、一味徒黨の巣喰ふ場所を！』
だが、俊太郎は、
『存ぜぬ』
と、首を横に振つた。

商況　十三日前場

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	八磅八志〇〇
倫敦銀塊	二三片一六分五
同先物	二三片二分一
紐育金塊	三五弗〇〇〇
同銀塊	三四仙四分三

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	三弗九二仙八分五
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	七弗四五仙
英米爲替	[illegible]
英日爲替	一志二片三三分五
英支爲替	四片四分三
英佛爲替	一七六法郎〇〇
英獨爲替	四〇マルク三〇

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	六六弗二分一
アナゴンダ	三〇弗八分一

▲紐育棉花

限月	相場
現物	一〇仙八五
十二月限	一〇仙七五
一月限	一〇仙六九
三月限	一〇仙四五
五月限	一〇仙一〇
七月限	九仙七五

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二八七留比〇〇
オームラ	二五四留比二分〇
ベンガール	二六〇留比〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）　寄付　大引　[illegible]

▲大阪株式（短期）　[illegible]

▲大連株式（短期）　[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布　[illegible]

▲東京人絹　[illegible]

▲大阪綿花　[illegible]

▲大阪期米　[illegible]

▲大阪人絹　[illegible]

▲橫濱生糸　[illegible]

東京・本郷・神誠館　十二月十三日　水曜　中中　先勝　成　箕宿

一白の人　强て求めずとも次第々々に太り行くべき日　乙と丁と庚が吉

二黒の人　强大なる運氣に見舞ふ日なれど口舌注意　甲と丙と辛が吉

三碧の人　輕卒に走りて思はざる大敗を招くことあり　坤と庚と辛が吉

四緑の人　苦は身を磨くの砥石と思ひて辛抱すべき日　中と庚と辛が吉

五黄の人　内を整へて外に手を出せば大事成就すべし　巳と丁と辛が吉

六白の人　少しの障りありとも打ち開きつゝ進みて吉　乙と巳と丙が吉

七赤の人　過大なる計畫を立つるときは大失敗を招く　甲と巳と丁が吉

八白の人　催せし陽氣が次第に增進し吉福を招き入る　丙と丁と庚が吉

九紫の人　自分勝手に走り易き日口舌爭論注意のこと　辛と乾と子が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社

日ソ通商條約交渉 愈よ本格的段階
正式開始は來春早々

【東京國通】日ソ通商條約締結に關する豫備折衝は去る十一月下旬以來モスクワに於て東郷大使とモロトフ外務人民委員との間に行はれつゝあつたが、大體順調の經過を辿りこのほど本格的交渉の段階に入る見込が立つに至つたので來春一月十日前後より正式交渉開始の運びとなつた、而して右交渉に際しては正式代表團を設けて衝に當る方針で近く東郷大使、並に來る廿日東京發赴任の途につく新任スウェーデン公使松島鹿夫氏に對し近く代表に任命することゝならう、また隨員としては在ベルリン大使館二等書記官法華津孝太氏、通商局事務官田中三男氏がモスクワに赴く筈である、尚ソ聯側代表にはミコヤン外國貿易人民委員が任命される模樣である

閻、赤魔打倒命ず
山西、八路軍抗爭激化

【太原十二日發國通】糧秣徴發、壯丁徴募を繞る山西軍と八路軍との對立抗爭は最近著しく激化し各地に於て小競合を演じてゐるが、太原に達した確報によると共產軍の橫暴に不滿を抱いてゐる閻錫山は部下の各軍に對し「省內の敵は日本軍に非ずして共產軍なり支那を衰亡に導くところの赤魔を速かに打倒すべし」との命令を發したと言はれ、又洪洞、歸汾、襄陵等の各地に在る抗日僞縣政府僞公安局には共產系が相當多數入り込んで赤色勢力の擴大工作を行ふと共に反山西軍思想を吹き込んでゐる所から山西軍第六十一軍長はこれ等全部に解散命令を發したと言はれ、山西軍第八路軍抗爭の成行も頗る注目されてゐる

米穀不足分は外米にて充足
酒井農相談發表

【東京國通】日本政府は米穀需給の逼迫下に鑑みこれが緩和のため曩に外米の大量買付を行ふ方針を決定し去る八日その第一次買付數量を百卅萬石と決定せる旨發表したが、更に最近の米穀需給に鑑み農林省において今後の對策について協議中のところ將來不足分はこれを外米を以て充足するの方針を確立し十二日の閣議において酒井農相より右方針を說明諒解を求め閣議散會後酒井農相談の形式を以て左の如く發表した

政府は既に外米百卅萬石の買付を了し續々入荷を見つゝあるが、既に十五米穀年度に於る米穀需給の圓滑を期するため所要數量は外米の輸入に依つてこれを充足すべきことにつき更に協議を重ねこの方針については異議ない所であるからこれに依つて需給關係の見透しを確立し農林當局として今後食糧對策の遂行に進む心算である、また既に內務當局とも連絡の下に現下の需給關係の調整を圓滑化せしめ一方においては生產者團體の活動に依つて出荷の督勵を期することになつてゐる

外米輸入 第二次決定

【東京國通】政府は十二日の閣議に於て米穀需給調整のため本年度端境期に於ける不足分を全部外米を以て充足することゝなり、去る八日發表された第一次外米買付に引續き第二次外米輸入計畫の方針を決定したがこれに依つて政府は昭和十五米穀年度(本年十一月以降明年十月まで)に於ける米穀需給統合は勿論明年度の一定量の持越高などに想定して買付を進めることになつたので今後配給の統制方法さへ適正化すれば國內米穀需給不安は一掃されることにならう

孫科歸任

【香港十二日發國通】重慶發U・P電によれば危機を孕む國共關係緩和の斡旋をなすべく重慶政府より歸國を要請されてゐた孫科は十一日突如汎米航空會社機で米國から支那の某所に到着した

獨軍照空燈隊の活躍 西部戰線

貨幣發行高 六億圓を突破
年末は七億圓必至

去月一日を以て五億臺に乘せた中銀通貨發行高はその後年末を控へて益々增勢を續け、十八日五億三千九百萬圓、廿五日五億八千六百萬圓、本月二日五億九千百萬圓と六億臺に驀進しつゝあつたが、遂に九日に至り紙幣五億七千四十八萬圓、鑄貨三千三百八萬八千圓を合せて六億を突破すること三百五十六萬八千圓に達し前年同日の貨幣發行高三億七千八百四萬九千圓の超過實に二億二千五百五十一萬九千圓と五九・六%の著增率を示し驚異的數字を記錄した

これと共に貸出も九日現在六億四百八十一萬四千圓に上り前年同日三億四千九百八十四萬八千圓に比し實に三億五千四百九十六萬六千圓の激增となり、一方預金も三億六百九十五萬八千圓で前年同日比一億二千七百五十六萬一千圓の增加を示してはゐるが、預金の增加に比して壓倒的な貸出の增加は貨幣の發行を膨脹させる強力な要因をなしてをり資金放出面の調整は極めて重大視されるに至つた

勿論かゝる通貨膨脹をせしめる根本の問題は產業五ヶ年計畫、北邊振興工作、開拓政策等の進行に伴ふ尨大な資金の投下が未だ全部再生產の過程に入る段階に至らず、更に時局の進展は國民生活に必要なる消費物件の不足を招來してゐるため經濟部調查による十月末全滿小賣物價總平均指數は前月に比し三・三%前年同月に比し三七・九%、康德四年平均に比し五二・一%と何れも昂騰を示してゐるのは當然の現象であるため今日通貨の膨脹となるのは從つて通貨の飛躍的水膨れを以てインフレーションなりと斷言するのは誤りであり不生產的消費の增大による物の不足が物價を昂騰せしめ通貨購買力を減殺し貨幣價値を低落せしめ一方に於て財政の膨脹、闇取引の橫行、現金取引の增大等を誘發して通貨の膨脹を煽つてゐるのであつて、八億を超える對滿投資の如きは對日購入物資の決濟として殆ど還流されてをり、又特產出廻りによる資金の需要の如きも出廻り不圓滑のため殆どない狀態であるため、今日のところ有力な原因を形成してはゐないのである

年末切迫を控へて今後の見透しを見んに特產資金の放出は大體一千百萬圓(大豆六百萬圓、雜穀五百萬圓)程度は必然であり、更に上述の趨勢を以てすれば貨幣發行高は年末恐らく七億圓を突破する事は避け難いものと見られてゐるが、これが對策として物の側からは物資配給網の全面的確立が最大要務とされると同時に資金側面の對策としては國內撒布資金の吸收を積極化すると同時に財政支出の壓縮、增稅による過剩購買力の削減等を考慮するの要があるが配當制限を含む資金統制法の強化(これは近く斷行の模樣である)並に公社債の消化、貯蓄の獎勵等に付いても一段の工夫配慮がなされねばならない

ミ島に海軍基地
米船建設の爲出帆

【サンフランシスコ十一日發國通】アメリカ第十二海軍區司令部は十一日アメリカ海軍運送船シリウス號(四、〇七〇トン)は十二日汎米航空會社の飛行基地太平洋のミッドウェー島に向け出帆する旨發表した、同船の使命は太平洋上のアメリカ領島嶼港灣改良費について曩に議會を通過した所謂五百萬弗計畫の一部としてミッドウェー島に潛水艦基地建設並に水上飛行基地、貯油施設を建設するためによるが、同船には沈沒潛水艦救助のモンゼンベルの發明者として知られてゐるモンゼン中佐指揮の下に珊瑚礁爆破作業のため六ケ月契約を以て雇傭せられた五十八名の勞働者が乘船してゐる

芬蘭救濟協力
フ氏ステートメントを發表

【パルアルト(加州)十一日發國通】ソ聯、フィンランド開戰以來米國の同情は翕然としてフィンランドに集まりつゝあるがフィンランド救濟委員會々長フーヴァー前大統領は十一日サンフランシスコ近郊のパルアルトにおいて米國に對しフィンランド救濟に協力するやう左のステートメントを發表した

われ〳〵の要請に應じて既に千三百に上る全米の新聞がフィンランド救濟資金募集を開始した、一方ニューヨーク、デトロイトその他の都市の市長も既に右救濟資金の募集運動を開始してゐるがこれに引續き余は全米各都市の市長に對し救濟資金募集の提唱者として行動すると共に地方新聞と協力せられんことを要請した

山崎電業副社長

山崎電業副社長は社債發行に關するシンヂケート團との打合せのため約一ケ月に亘つて東上中であつたがこのほど大體の要務を了へたので十二日午後五時卅分新京着あじあで歸任した

木材配給價格統制成る
輸入材は滿材取扱ひ

政府は木材統制實施後に於ける實績に鑑み、木材價格政策、配給等の諸點から統制を強化する必要を認め之が具體案につき立案中のところ大體左の如き強化方針を採ることゝなり七年度木材需給調整及び價格統制實施要領を十一日の國務院會議に上程、通過を見た

一、現在迄自由に任せられてゐた輸入材は滿材が一手に之を輸入する

一、民間伐採材の四割は自由處分に任せられてゐたが、事實上民需に向けられるものがないため之を滿材一手に取扱はせることゝなり、四割の自由處分を廢し從來民需であり乍ら特需に向けられた四割分に對しては滿材が收買し省及び特別市に於ける整備委員會の手を通して配給する

一、從來滿材は一般材のみを取扱つてゐたが新たに枕木、杭木、電柱、橋寸用材、クルミ用材等の特殊材についても取扱ふこととした

一、出材の確保奬勵を圖るため今年より收買價格の割增制を取る事になつた

なほ前後三年間の需給計畫(薪炭材を除く)を見れば左の如くである

△康德五年度 生產量四五〇萬立方米、市場出廻り三三〇萬立方米(金額一五二、九〇〇千圓)輸入材四五萬立方米(金額二一、一七〇千圓)輸出材一三萬立方米(金額五、八五〇千圓)

△康德六年度 生產量六〇〇萬立方米、出廻り五〇〇萬立方米(金額二二九、三四〇千圓)輸入五〇萬立方米(金額二九、九〇〇千圓)輸出四萬立方米(金額二、二〇〇千圓)

△來年度豫想 生產量八〇〇萬立方米、出廻り七〇〇萬立方米(金額三〇三、二〇〇千圓)輸入六〇萬立方米(金額三六、二〇〇千圓)輸出五萬立方米(金額二、七五〇千圓)

滿鐵增資參加
政府當局談を發表

第三次滿鐵增資に伴ふ滿洲國政府の資本的參加については十一日の國務院會議に附議、正式決定を見たので政府は十二日左の如き當局談を發表、滿洲國鐵道政策運營に對する政府滿鐵關係の益々緊密化するに至つたことを明らかにした

□

政府は □

今回日本側において滿鐵增資に關し滿洲國側の參加等につき正式決定を見た新事態に照應し、滿鐵がわが國內交通運輸の飛躍的擴大の要請に應じ今後遂行すべき使命は極めて重大であつて、日滿一體の見地において共同防衛の強化、建設開發事業の遂行に邁進し來れるわが國政府としては鐵道建設の促進滿鐵社線並に國鐵の一元的運營の擴充整備に重大關心を有し、夙に在滿日本側各機關と歩調を合せ滿鐵增資の斷行に積極的協力の態度を持し來つた所である、而して今回日本政府に於て決定を見たる增資額六億圓の內滿洲側に於て引受くべき額は、政府及び在滿洲民間を併せ一億圓であつて內政府に於て五千萬圓を引受け殘額五千萬圓は之を滿鐵社員並に今回設けらるべき貯金部等に振當て此際一般公募無き豫定である、今次滿鐵資本に對する滿洲側の參加は其の意義洵に大であつてこれにより政府と滿鐵との一體協力は更に緊密化され、國內建設開發及び交通運輸の發展は一段と促進されるのもと確信する

郵政總局擴充
一月一日より實施

政府は郵務行政の飛躍的發展に即應し郵政業務の企畫調查、統制機能を強化充實するため郵政總局の機構を改革することゝなり十一日の國務院會議に機構改革要綱を附議可決したので明年一月一日から實施することとなつた改革要點左の通り

一、郵政處　內外郵便業務の質的量的增加に對應して擴充整備し更に郵政總局及び下級機關に關する人事、經理、監察の事務を管掌せしめるため企畫科を新設す

一、儲蓄保險處　儲蓄國策に基き郵政儲金、郵政保險の劃期的發展を圖り以て資金運用の萬全を期するため富家強國の一翼たらしめることゝなつた

一、電政處　平戰兩時を通じ緊急通信機能を強化し電政監督業務を合理的に調整するため中央部の下に一元的統制を圖り、電波による內外輿論の誘導有害電波の撃滅その他全國電氣通信事業を統制的に強化する

貿易業者政府側と懇談

貿易統制強化のため政府は曩に貿易統制品目について輸出關係七十種、輸入關係について五十四種の追加を行ふ旨發表したが、在滿貿易業者は十四日午後一時より國防會館において經濟部稻次商事科長、穩岐貿易科長の出席を求め政府側との間に懇談會を開催、當局の說明を聽取する事となつた

四面鐵

東亞新秩序建設の經濟的方法的基礎は何といつても日本の重工業の自主的發展でなければならない▼つまり少くとも日本の鐵工業が對外依存を清算してかつ飛躍的發展をとげるのでなければ、善隣友交をやつても經濟提携に際して、結局ヨーロッパやアメリカの資本と資材とを入れることゝなり、それはやがて東亞をユダヤ財閥の藥籠中のものにすることになるのだ▼しかるに現在の日本の鐵國策の現狀はどうか▼日本內地には鐵鑛石の資源はとんど見るべきものなく、大部分の鑛石は南洋及び支那滿洲に仰いでゐるのだ▼さうしていはゆるアウトサイダアの平爐製鋼用として、屑鐵をアメリカから百數十萬トンも輸入してゐるのだ▼日本の製鋼能力六百萬トンといつても、その原料は殆ど全く對外依存である▼製鐵用石炭さへも滿洲に依存するところが益々大とならざるを得ぬ實情だ▼日本が東亞の新秩序建設を指導する爲めには勿論のこと、現在の東亞安定勢力を維持する爲めにも、その鐵鋼消費量は少くともさしむき一千萬トン位を不可缺とするだらう▼ところが現狀においては七百五十萬トンの鋼材需要にすら應じきれないので、到るところに鐵飢饉が叫ばれてゐるのだ▼さうしてそれは原料の對外依存—南洋鐵石の輸入增加は船腹關係から急には實現し得ないし、アメリカからのスクラップは增加どころか、現在の百六七十萬トンを維持することさへ將來見込うすとされること—に基因するのだ▼そこでわが滿洲國の製鐵業が當然にその重要性をいやましてくるわけだ▼勿論滿洲は日本に對して鑛石も、石炭も、銑も供給することに決してやぶさかであつてはならない▼しかし乍らそれはせい〴〵內地既設の製鋼能力を動かすためであつて今後の增產は滿洲においての日滿一體經濟の原則のもとに、鑛石も石炭も賦存する現地において、生產すべきことはいふまでもない▼「日鐵」と「昭和」の間に製鐵上の競爭關係などがあるとしたら、大陸日本の國策を害するものといはねばならぬ▼とにかく滿洲國の製鐵業の飛躍的發展は東亞新秩序建設の基本たるものだ▼それ故にこそ產業開發五ケ年計畫においても、最大の重點をおかれてゐるわけだ▼ところが、五ケ年計畫着手の年において支那事變が勃發して、それの國際政情への反響は外資とくにアメリカ資本並に資材の導入を絕望ならしめ、さらに今年になつてヨーロッパ戰爭の再發にあつて、ドイツ機材の入手難となり五ケ年計畫全般に一大支障を來すに至つたのだ▼これは五ケ年計畫擔當者のエクスキューズだといふものもあるけれども、それは酷評であつて、事實非常な困難を生じたことは爭はれない▼しからばわれらは、いはゆる「沒法子」で、ぼかんとして、もしくは右往左往あわてふためいてゐてよいのか▼「轉禍爲福」といふ諺がある▼進歩的、發展的な人間は、いはゆる轉んでも唯は起きないものだ▼大陸日本建設を擔當し、くにつくりをやりつゝあるわれらはこの際猛省一番、更に工夫努力すべきだ▼外資や外國機材が來ないといふなら、よろしい!國內で調辨創製しようではないか▼しかもそれは單なる意氣込の時代ではなくて、すでに製鐵に關する革命的發明が、工場試驗の域を脫して企業化せんとしてゐるのだ▼それは大連の上島慶篤氏の直接製鋼爐—鑛鋼一貫作業だ▼それはプロセスにおいて獨特なるのみならず、外國機材を少しも必要とせず從つて全然外資を要しないのだ▼くはしくはその道の專門家に委かせるとしてわれ〳〵はその機構(統制法とその機構)にとらはれず行きがゝりや面子にこだはらずに百尺竿頭一步を進めて、この非常時に胸のすくやうな英斷に出でんことを切望する。

人事往來

▲久原房之助氏(參議)十二日來京ヤマトホテル
▲芳澤謙吉氏(貴族院議員)同
▲大口喜六氏(代議士)同
▲吉川貞一氏(同)同
▲大津徹氏(滿鐵水運課長)同
▲桑原一郎氏(海拉爾商工公會常務理事)同三國ホテル
▲井草喜之助氏(會社員)同
▲小畑三郎氏(同)同
▲村岡小一氏(丸重洋行)同
▲草野松雄氏(外務省東亞局)同
▲石原新造氏(新和木材)同
▲須藤勇氏(鴨綠江採木)同
▲樋口謙太郎氏(滿洲輕金屬)同
▲金澤貞太郎氏(滿鐵社員)同蓬萊ホテル
▲上原猛雄氏(官吏)同
▲瀨口藤太郎氏(安東商工公會々長)同
▲新出忠平氏(同專務理事)同
▲古賀光華氏(會社重役)大和ホテル
▲坂本甲午氏(同)同
▲蒲地徳一氏(同)同
▲福留敏允氏(材木商)同
▲藤田茂氏(滿炭社員)大和新館
▲日野正則氏(久留米鐵工所)同
▲大谷飛之助氏(汕會社)同
▲青山文三氏(大林組)同
▲谷勝美氏(大連鐵工業)同
▲池田秋男氏(奉天池田土建會社)同
▲佐藤榮氏(大林組)同
▲醍醐馬弟安氏(土木業)同
▲井崎日吉氏(藥種業)同
▲河野喜作氏(大同セメント專務)同滿蒙ホテル

社說 滿洲國政府の文化政策

滿洲國に於いても近時大いに文化政策といふことが言はれるやうになつて來た。來年からは愈よその積極的な踏み出しの端緒が見られるであらうと豫想される。國家權力による統一的な文化政策の實施、これは一種の近來の流行とも言へるのであつて、特に獨逸のナチス政府が行つたそれが顯著な先例となつてゐると見られよう。日本の文化政策論者などの理論は相當にこの獨逸製理論の受け賣りだつたやうである。

だが滿洲國に於ける統一的な文化政策の實施といふことは、その事だけとしては大いに喜んでいい。蓋しこの國は知らるゝ如く複合民族國家であり、しかもその大多數の民族は文化的に甚だ遲れた狀態にあるからである。しかしまたそれだけに統一的な文化政策とは言つても、その方法には周到な用意がなくてはならない。第一に遲れてゐる民族を引き上げ追ひ付かせるための考慮がなされねばならない。先進民族が持つてゐる高度の文化をそのまゝに押しつけることは出來ないのである。それが不注意に行はれたならば、いはゆる文化の侵略扱ひされて排擊されるといふことにもなるであらう。滿洲國につくらるべき文化はそのやうなものであつてはならぬのである。

先般の協和會全國聯合協議會に於いても文化の向上を圖ることの必要を說いた一つの提案があつた。このやうな議案が出たといふその事は喜んでよい。しかしその討議の模樣を見てゐると、提案者の側でもまだ充分に配慮し方策を練つた議案だとは思はれなかつた。ただ地方の民衆に健全な娛樂がほしいといふやうな點だけを强調した素朴な思ひ付き的な提案だとしか思へなかつた。それではただの問題への着手にとどまつてゐる。問題の端緒さとらへたといふだけのことである。ところでこれに對する政府側の方針說明を見るとこれも充分滿足出來るやうな內容は見出せなかつた。出版物とかラヂオとか二、三の實例を說いただけで、今後に實施されようといふ政策の全貌を語つたものではなかつた。要するにまだ着手したといふのが實際なのであらう、この際衆智を集めよと言ひたい。でなくしては、到底圓滿な成績をあげることが困難であらうと思はれるのである。文化行政についての種々の失敗は日本に多くの實例がある。滿洲國としてそんな失敗を繰り返へして貰ひたくはないのである。官民の一致協力はこの部面でも緊要である

野村、グ第三次會談 近く開始されん
米、グルー大使に訓令

【ワシントン十一日發國通】日米交涉に關する日本側の提案につき檢討を重ねてゐた國務省は既にグルー駐日大使に對し訓令を發した模樣で恐らく近く野村、グルー第三次會談が行はれるものと豫想される、去る四日第二次會談の內容についてその後國務省當局から得た印象によれば、右會談では主として在支米國財產の損害に對し日本側が賠償に應ずる意圖を披瀝し具體的問題について日本側が日米國交調整に對する誠意を示したことは米國側も充分これを認めたが、米國側が特に重點を置いてゐるのは在支米國權益に對する將來の保障の點で揚子江問題、一般通貨問題等には未だ觸れず、これら將來の保障の問題につき日本側より未だ充分な言質を得てゐない點に米國としては不安を抱いてゐる模樣である、會談は今後も引續いて行はるべく双方の主張ならびに立場がこれによつて接近することは期待されるが、在支米國權益の損害賠償問題も現在では兩者の主張に幾分の懸隔があり、國務省當局の希望は損害賠償問題を單獨に切離して解決せず、米國權益に對する將來の保障問題とひつくるめ或は保障問題を第一の根本的問題として解決したい意向と傳へられるが、國務省當局は去る四日の會談をもつて日米國交調整の良いスタートであると見てゐることは疑ひなく、交涉を纏めたい氣持は充分觀取し得、一般の輿論もこの方向に動いてゐると思はれる點が多く見受けられる【寫眞は野村外相（上）とグルー米大使】

荒鷲、安化を猛襲
軍事施設に大打擊

【香港十一日發國通】當地に達した情報に依れば十一日午前八時日本空軍の一機が湖南省黔陽縣上空に現はれ偵察飛行を行つたが間もなく同九時頃編隊機が湖南省要衝安化を猛襲、市內外の軍事施設に對し前後五回に亘り爆擊を加へ大損害を與へた、又同日午前十時頃日本空軍の編隊は廣西省湘桂鐵路沿線の軍事的重要都市全縣を襲ひ二回に亘り猛爆を加へ市內外の敵軍事施設に大打擊を與へた

海鹽附近戰果

【杭州十一日發國通】去る七、八日における海鹽附近の包圍殲滅戰果左の如し
敵兵力＝抗敵自衛團第六支隊並びに新編第卅師の一部約一千五百、遺棄死體一四、捕虜二、わが方の損害負傷五

竹田宮恒德王殿下御歸京

【東京國通】畏くも竹田宮恒德王殿下には安東御附武官を從へさせられ嚴寒の海拉爾、齊々哈爾及び東部國境方面を約一ケ月に亘り親しく御視察あらせられたが十一日奉天御發飛行機にて京城經由午後零時五十六分福岡御着御小憩の御後再び飛行機にて同地御發、同四時半羽田飛行場に御安着あらせられた

土匪掃蕩に 武器は要らぬ
橫尾部隊の珍"道路戰術"

【應城十一日發國通】中支江北の第一線を固めるわが橫尾部隊では土匪遊擊隊掃蕩には武器はいらぬと新しい「道路戰術」なるものをあみ出し多大の效果をあげてゐる、橫尾部隊長の新戰術說明を聞くとかうだ

中支の最前線たる皁市（應城西方六里）には市外一里のところまで土匪遊擊隊が接近、地方良民を苦しめてゐるがわが將兵による度々の掃蕩戰で今は裝備も劣り全く匪賊化としてしまひ暴行掠奪をほしいまゝにするので一案を考へた、こんな手合に何も優秀な兵力は要らない、土匪の根城となつてゐる湖岸地帶にむけて自動車路を造るのだ、こちらが一里造れば一里後退五里にのばせば五里だけ逃げる、

去月廿日から地方良民が自發的に勞力奉仕をし一兩日中に皁市を中心として西方三里胡家場までと東南五里桐塚集西北一里趙家場に通ずる三本の自動車路が立派に完成する、これらの道路は毎日一千五百人以上の部落民が廿日間全くの奉仕勞力で出來たもので面白いことには皁市に近づくにつれ勞作が鈍り匪賊に脅かされる率の多い地方は仕事が捗るのだ、いざと言へば皇軍が助けに來て吳れると言ふ「良民への輸血路」は一日一日延長されるが、これが又物資輸送路として活用されるから一石二鳥の名案と思ふがどうだらうか

獨立論豹變
ケソン大統領

【マニラ十一日發國通】ケソン大統領は九日夜マニラ市アテネオ大學におけるマニラ各大學聯合演說會に臨み「獨立再檢討論に反對するものでない」と述べ、從來の自己の絕對獨立論を一擲し各方面の注目を惹いてゐる、ケソン大統領は一學生の獨立再檢討論に應へて

その獨立再檢討論が比島の獨立が經濟戰爭に備へるため、また內國の貧弱を擊退する充分な國力を有してゐないとの理由に甚くものならば決してこれに反對するものでないと言明した、このケソン大統領の言明は

余はフイリッピンがアメリカ主權の下において天國たらんよりは地獄にあつても寧ろ獨立を選ぶ…

との從來の獨立に對する態度を豹變したもので、右はケソン大統領が一九四六年の獨立が經濟的に不可能なることを自白し今やフイリッピン聯合政府は單なるアメリカの傀儡に過ぎないことを暴露したものとして今後の成行は注目される

獨、羅通商交涉
愈よ近く成立の運び

【ブカレスト十一日發國通】過般來ブカレストにおいて進行中のドイツ、ルーマニア通商交涉は愈よ近く成立をみる模樣である、ドイツ首席代表クロデュース博士は協定成立を俟つて近くベルリンに歸還するが、未だ最終的決定を見ず、折衝中の問題は兩國通貨の換算並にルーマニア產小麥とドイツ機械との交換であるといはれてゐる

西部戰線

【ベルリン十一日發國通】ドイツ軍司令部發表＝西部戰線にあつては彼我兩軍の間に若干の砲擊がありたるのみにて格別の變化はない、十日夜敵はアバスに對して砲擊を又ケール及びレオポルト河口においても空襲掃射を加へ來つた、一方海上戰は十日活潑に行はれ、北海でデンマーク船一隻、ノルウエー船一隻、イギリス船三隻が沈沒せり

英汽船沈沒

【ロンドン十一日發國通】英國汽船ウイロプール號（四八一五噸）は十一日午前英國東海岸沖において敷設水雷に觸れ沈沒した

ソ聯のバルカン進出形勢 對處策に英苦慮
聯盟の反ソ行動も大勢に無影響

【ロンドン十一日發國通】英國刻下の關心はジュネーヴに向けられフインランドに次いで戰火をバルカンに擴大せんとする形勢にあるソ聯外交政策の對處策に苦慮してゐる、即ちアルゼンチン始め南米諸國から强硬な反ソ態度が表明されてゐるが、果して聯盟總會がソ聯除名または對ソ制裁決定までに進むことが好結果を齎すか否かについては英政界に於て頗る疑問視され英佛側としては

一、極端な反ソ態度表明は聯盟國たる一部歐洲諸國を當惑せしめるので聯盟總會はまづソ聯に對し侵略停止を要請すること

一、若しソ聯が右要請を拒否した場合はじめてソ聯を侵略者と見做し加盟國に對して出來る限り個別的に對フインランド援助を行ふやう勸告する旨の決議を行ふこと

に贊成するといはれる、しかしながら何れにせよ如何なる聯盟の反ソ行動も次の如き理由により實質的には大勢を動かし得まいといふのが一般の觀測である

一、バルチック進出の目的を貫徹せんとするソ聯の決意に變更はない

一、聯合國はソ聯をしてドイツの味方に立つて參戰せしめるやうな事態を惹起することを好まぬ

一、米伊兩國がかゝる反ソ行動を共にするか否かは依然不明である

ソ聯除名問題に 新訓令を發送
板挾みの重慶政府

【香港十二日發國通】國際聯盟支那代表が十日英佛代表部に對しソ聯除名問題討議の際支那代表部は投票を棄權すると通告したことは英佛のみならず歐洲各國より責任回避の所爲であらうとの非難の聲が出てをり聯盟當局でも重慶政府に對しその再考を促して來てゐるといはれるが、重慶外交部長王寵惠は十一日ジュネーヴの代表部に對し新訓令を發送したといはれる

新訓令の內容は不明だが國共相剋に惱む重慶政府は本問題に付ても意見の對立を見、ソ聯除名に投票すればソ支關係は必然的に惡化され、延いては國共兩者間の對立を激化せしむるとて票決棄權を主張するものと棄權は英佛の對支感情を惡化せしめる故愼重なる考慮を必要とすると主張するものあつて容易に意見一致しない模樣で外交部當局としてはソ聯除名問題についてはこゝ暫く明確なる態度の表明を避け適當なる時期を待たんとする方針のやうである

ソ聯の要求暴露
對ソ開戰迄の外交交涉經過 芬蘭政府から發表

【ヘルシンキ十一日發國通】フインランド政府は十一日白書を以てソ芬會談より開戰に至る迄の外交々涉經過を發表しソ聯の對フインランド要求の全貌を初めて暴露した、白書の要旨左の通り

一、ソ聯はフインランド灣を封鎖するとゝもに外國船舶のフインランド灣入港を阻止する企圖の下にフインランドに對し左の如き要求を提出した

一、ハンゲ港に海軍基地を建設する目的の下にハンゲ港及びその接壤地域の三十年間租借

一、ハンゲ港に空軍三個聯隊及び五千を超えざる陸軍部隊の駐屯

一、ソ聯船の碇泊地としてのラトデジヤ灣の使用

一、ソ聯はホグランド、セイスカリ、ラヴエンサリ、チタルスカリ、コイヴイスト等各島嶼を含むレニングラード西方及び西北方に位する全島嶼並にリボラ村落、カラスタ、ジヤサレント西方を含むカレリア地峽の一部をソ聯領に併合しこれに對しソ聯も若干の領土をフインランドに讓渡する

和蘭船觸雷沈沒

【アムステルダム十日發國通】オランダ汽船イミンガム號（三八一噸）は十日朝オランダ北岸カランドソーグ附近で機雷に觸れ沈沒した

輝く戰蹟は語る
國軍各部隊めぐり

獨立自動車隊

戰鼓の如く高鳴るのはエンジンの響か、またはこの胸のときめきか、戰車も喉も焦げつくばかりに渴いて敵の鮮血に飢えてゐた、豚饅頭を並べたやうな砂丘を越えた刹那であつた、展望孔を埋めて點、點、點を八つ「敵戰車だ！」叫ぶが早いか擊ち出した一彈は誤たず先頭の司令車と覺しき一臺に命中、見る間にパッと黑焰を吐いて擱座した。狼狽ぶりの醜くさ

【殘敵の】

四分五裂となつて逃げ始める、後はたゞ濛々たる砂塵の中で急追擊の機銃射擊が豪雨のやうに咲くばかり「雨と云へばさうだ旨い水がたゞ一杯でよいから呑みたかつた」この七月五日の朝のこと、處はノモンハンに近いハンダガヤ高地附近、語るのは

滿洲國軍の精銳「〇〇部隊」小堀上尉である、上尉は今次の國境事件に奮戰中左眼に重傷を負つて拔群の殊勳を樹て名譽の武功章二級を賜つた勇士で談はまだ續く

五日戰場に到着するとすぐ右の樣に敵車一臺を血祭りにしたのを皮切りに翌六日には二臺を、七、八兩日には大激戰を交へて味方が有利に展開、戰車を遺棄して逃げ出す敵を機銃で狙ひ擊ちにするなどあつて、十五、六日までには敵の戰車、裝甲車を三臺擱座せしめ四臺を鹵獲するほどの戰果を收めた、敵はわが滿軍に裝甲車のある事を最初知らなかつたらしく、國旗を翻したわが隊の出現に面喰ひ鐵甲彈の用意もなかつたので慘憺たる敗北を喫したのであつた、その後は敵も本格的に準備を整へたから七日八日の激烈な戰車戰となりそこで遂に戰車砲を機關部の眞中に受け私は負傷したのだが、滿系、鮮系の部下の日系と異る所もない目ざましい奮戰ぶりは思ひ出しても眼が熱くなるよ

誠に上尉のいふ通り國軍にかゝる優秀な裝甲機械化部隊があることを知らなかつたのは果して敵のみであらうか、實に〇〇部隊は康德元年に設立され、翌二年東邊道討伐に初陣の功名を樹てゝ以來、大小の出動數三十餘回その間大臣、司令官から褒狀を受けること六回に及んでをり、今次國境事件には兵站輸送その他で日本軍と協力したほか、右の如く大奮戰して日軍の多大な賞讚と感謝を博し、武川上尉以下四名の個人と部隊に對し感狀を贈られてゐる

この部隊の特色は他の滿軍と違つて士兵に日滿鮮各系を集めて民族協和の實を

【砲塔下】

に擧げてゐることで、日本內地で既に軍隊教育を一應すませた者が入隊するのも多く、立派な伍長殿が改めて小兵から出直し、大陸に健鬪すると同時に技術の習得に努力してゐる、更に除隊後は五ケ年の徵集義務年限がある一方、試驗を免除して自動車運轉の免許證が交付されるので各方面の交通第一線に活躍してゐる者も多い

今度の事變で徵集された滿系上等兵は應召に當り勤務先から內地に優る歡送を受け「滿洲も日本も同じになつた」と泣いて感激し、戰場に赴くや鬼神も愧さる勇戰をしたとか、かういふ處に梁瀨部隊の赫々たる武勳の源泉があるわけで、要するに「好人不當兵」（良い人間は兵隊にならぬ）といつた觀念の打破と募兵制度の合理的確立が要望されてゐる現狀に對し、この特色ある梁瀨部隊が國軍の方向によい典型を示してゐる所以である。

梁瀨部隊殊勳の裝甲車と小堀上尉

糧棧と特約 大豆蒐荷促進
專管公社對策なる

大豆出廻り促進策として曩に小口輸送の實質的禁止を斷行したが、未だ活潑なる動きを示さず之が原因として

一、大豆粕價格の公定

一、大豆粕、大豆油の一般輸出に對する處置

一、日本における暴騰等に對する處置が未だ取られないことが擧げられ當局も對策樹立を急いで居り更に專管公社はこれまでとられ來つた消極的出廻促進對策より一步を進め有力糧棧を活用し、取敢へず左の方法により一定の口錢の下に特約を結び、先物のみに關し收買契約をなさしめることになつた

一、糧棧にして收買、輸出に相當實績のあつたもの

一、先物の收買を公社と契約の下において行ふ

一、先物契約の口錢として一車當り一月限二十圓、二月限二十圓、三月限三十圓を專賣公社が契約取扱人に交附する

一、契約せるものに對しては麻袋を公定價格にて配給する

現在以上の方針の下に先物取扱ひをなしてゐるものは三井、三菱、豐隆、利豐、瓜生等であるか、從來實績を有するものは申出によつて契約を結ぶ筈で、金利が二錢程度で相當窮屈であるため小規模なものは契約しにくいと思はれるが、之により業者と專管公社との聯繫化が濃化すると共に取引の圓滑な運用が齎らされるものと豫想され、公社自體が初めてなした對策でもあり公社將來の方針に對しても多大の示唆を含んでゐるものとしてこの成果は注目されるところだ

英掃海艇沈沒

【ロンドン十一日發國通】英海軍省發表＝掃海艇レイ・オブ・ホップ號は十日英國東南海岸沖合において機雷に觸れ沈沒した、乘組員中四名は死亡、五名は行方不明

英商船の沈沒 八十二隻

【ロンドン十一日發國通】英國政府の發表に依れば、十二月九日を以て終了一週間に英國船舶の沈沒せるもの七隻、その總噸數三萬三千五百十八噸、一方中立國船舶の沈沒せるものは八隻その總噸數は二萬六千六百十二噸に上つた、更に戰爭開始以來九、十、十一月の三個月間に英國商船の沈沒せるものは八十二隻、その總噸數は約三十萬噸に達する

ソ軍九千名捕虜

【キルケネス（ノルウエー）十一日發國通】十一日フインランド軍前線よりの情報によればフインランド軍はフインランド北部戰線でソ聯兵九千名を捕虜とし又フインランド兵に狙擊され若しくは凍死したソ聯兵は八百名に達した模樣である、ソ聯は補給列車を遠く離れて前進し過ぎたため肌を刺す寒さに曝され四、五十キロ進擊した頃にはフインランド軍のため見事に兵站線を攪亂され食糧も盡き今や非常な窮地に陷つてゐるといはれる

安田信託配當

【大阪國通】安田信託では十一日決算重役會を開き當期利益金處分案（配當年六分据置）を査定、來る廿八日開催の定時株主總會に附議する

野村信託配當

【大阪國通】野村信託では十一日重役會を開き當期利益金處分案（配當年六分据置）を査定した

大日本製糖配給

【東京國通】大日本製糖では十一日丸の內本社で重役會を開き當期利益金處分案（年二分二厘据置）を査定した

哈爾濱建設事務所長更迭

滿鐵辭令
哈爾濱建設事務所長 參事 佐藤周吉
建設局哈爾濱在勤を命ず
建設局調査役參事 小味淵肇
哈爾濱建設事務所長を命ず

商況 十二日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐵新	[illegible]	[illegible]
同紡	[illegible]	[illegible]
鉱鐵	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]

手形交換高（十二日）
[illegible]枚 [illegible]錢

大哈道路愈よ新春着工

大連哈爾濱間を七時間で突破
"世紀の夢"實現へ

大連＝奉天＝新京＝哈爾濱の四大都市を繋ぐ所謂哈大道路は今春來奉天の調査事務所で調査中であつたが、本年末までに俯瞰的な第一期全線調査を終了、來年度からは愈よ精密な局部調査を開始して、一部着工も可能な見透しがつくに至つた

この哈大道路は、滿洲の各港と奥地とを直接結ぶため交通部が實施計畫を樹てた各路線のうち最も重要な幹線道路として十五ケ年計畫で第一に着手されたもので總工費約一億五、六千萬圓、有效幅員十五米、中央を芝生に兩側七米五十を二車線に分け、内側は平均時速百五、六十キロのスピード可能なものとし、外側は前車を追越す時にのみ使用することになり、滿鐵が誇る快速あじあの平均時速八十キロに比する時は倍のスピードで大連＝哈爾濱を結ぶことになる

資材難のため取敢へず簡易鋪裝路として着工の上漸次本鋪裝に移すことになる模樣だがこれが完成の曉にはドイツのアウトバル道路、新謂ヒトラー道路より遙かに優秀なものが完成され、産業、文化、軍事などあらゆる方面から鐵道と相俟つて重要な役割を果すものと期待されてゐる

要保護少年を大陸更生の途へ
興亞學院近く誕生

要保護少年に教育と技術を與へ大陸に送り込まうといふ聖戰下に意義深い企てが元檢事總長光行次郎、陸軍中將高田豐樹兩氏の手によつて計畫され財團法人「興亞學院」と銘打つて誕生することゝなつた

高田中將は少年犯罪者の更生指導のため戰時下に相應しい收容所設立を計畫、舊結の鹽野前法相、光行元檢事總長、日銀總裁結城豐太郎氏等多數有力者援助の下に目下學校校舍並に附屬工場を神奈川縣川崎市に建設中で來春二月落成の上は光行元檢事總長が委員長、高田陸軍中將が副委員長に就任しまづ百名の要保護少年を收容、六ケ月訓練の上大陸に送り出す計畫である

訓練は德育と技術に重點を置き當分は木工、鍛鐵工の教育を與へるが同時に軍事教練を實施して一旦事ある場合には銃を執つて第一線に起たしめるといふ大陸向きの人的資源增强の一石二鳥の役割を果すものとして各方面から期待されてゐる

戰傷勇士
中等教職員に

滿洲、日支兩事變の戰野に或は滿洲國國境線の確保に轉戰赫々たる武勳を樹て乍らも不幸傷き故國に歸つた友邦日本の傷病勇士をわが國の公立中等學校職員に迎へ教壇を通じて日本精神の顯現を圖らうと民生部ではかねてこれが具體化を急いでゐたがいよ〳〵廿日から明年一月廿五日までを募集期間に關東軍兵事部を經て陸海軍省、厚生省、各府縣職業課宛、募集の依賴を發した、募集人員は百名、中等學校卒業程度若くは同等以上の學力を有する年齡滿卅五歲未滿の戰傷兵で學事務處理上不自由ない者、銓衡は二月八日から廿三日まで東京、山形、仙臺、札幌、京都、名古屋、長野、金澤、福岡、鹿兒島、廣島、高松、松江の各師範學校で施行、及格の發表は三月中旬の豫定である

滿業石炭協議會

滿業では先般斷行した職制改革により連絡部を新設し從來とかく連絡に圓滑を缺いてゐた傘下各社間の連絡を强化することになつたが今回新たに各部門別に連絡協議會を開催することゝなり、最初の試みとして十一日午前十時から同社副總裁室で石炭協議會を開催した

滿業世良連絡部長、永積石炭部長、松尾連絡課長、滿炭河本理事長、塗四常務理事、東邊道開發奥村常務理事、昭和製鋼所桃木取締役、本溪湖煤鐵高橋常務理事が出席、滿洲に於ける石炭の生産消費の主要部分を占むる前記各社の消費並に生産計畫を中心に種々懇談した

滿業では今後も引續き同種協議會を續開することになつてゐるが傘下各社の連絡と統制に劃期的成果を齎すものと見られてゐる

採金船の子供
ドラッグライン登場

金增産計畫に對應するため滿洲採金會社では昨年末二千八百萬圓を增資して採金船の增設を中心とした施設の機械化を圖つて來たがこれと並行して採金船では採算のとれない小規模の鑛區を開發するため今回新たにドラッグラインを使用することゝなつた

即ちドラッグラインは一分間約一・五倍の採掘能力を有するので二立方呎のバケットを有するドラッグラインは十立方呎の採金船の約三分の一の採掘能力を有することゝなる、また建造費は一台五十五萬圓程度で採金船の四分の一乃至五分の一に當り重量は二百瓩見當で採金船に較べれば極めて輕快かつ自由自在に移動出來る點が特徴である

而して會社では既にアメリカに二立方呎三台を註文してあるが、その中一台が最近積出しを終つた旨入電あつたので來春解氷期に入ると共にまづ興隆溝に入れて試驗的に使用し成績が良ければ更に增設する方針で資材難の今日ドラッグラインの使用は一石二鳥の觀があるのでその成果は注目されてゐる

年末金融打合

中銀では十一日午後零時半より同行會議室に在京銀行團、興銀、益通、益發、新京、正金、東拓、大興公司金融合作社、中國、交通各銀行代表者の參集を求め中銀側より田中總裁以下各理事、關係課長出席年末金融狀況並に見透し等につき種々懇談を遂げた

北邊各省增員

政府では黑河省、興安省、黑河省等主として北邊振興に關係の深い國境各省の馬疫防遏と工作の徹底を期しこの程左の如く省官制を改正することゝなり、十一日の國務院會議通過をみたが省政充實の見地よりその成果は大いに期待されてゐる

▲省官制中改正の件　馬疫防止のため技士七名を增員し一省一名の割に配置する

▲黑河省官制中改正の件　從來七十四名の定員を八十二名に、一擧に十二名の增員を行ひ主として衞生方面の充實を期す

▲興安各省官制中改正の件　馬疫防止のため技士八名を增員、屬官十四名を增員す

▲省、黑河省及興安各省臨時職員に關する件　技士十一名を增加主として職能登錄事務を相當せしむ

國境事務に稅關職員增加

政府は梅輯、水豐、琿春、土門子各線の朝鮮領乘入による滿鮮國境直通列車運轉開始に伴ふ共同通關實施に對應、更に滿蒙間の貿易取締り爲替管理の强化に備へるため滿蒙國境林西、多倫赤峰、閻場、豐寧等に稅關分關乃至分卡を設置するに當りこれ等に要する稅關職員五十七名を增加することとなり稅關官制中改正の件は十一日の國務院會議に附議可決された、即ちその內譯左の如くである

事務官二名、屬官十七名、技士六名、監吏卅二名

無許可金融營業者

【東京國通】大藏省は各地方廳と協力して銀行業者と銀行法、貯蓄銀行法また有價證券割賦販賣業者の違反者を調査してゐたがその結果昨年十二月以來一ヶ年間に無許可にして金融業を營むものゝ內違反と認定せるものは八件でこれ等に對しては金融業者の廢業解散を命じ解散後の整理を嚴重監督してゐる、關係方面の分左の如し

△大連三業積立會（大連市浪速町二〇二）△大連貯蓄信用組合（大連信濃町八二）

雪の長白山下壯烈な掃匪戰
酷寒期を迎へて戰機まさに酣
疾風迅雷の猛追擊

（千古の謎）に包まれてそゝり立つ東邊道の峻岳、雪の長白山脈に皇道宣撫の聖旗を押し立て共匪殲滅の火蓋を切つたわが國軍の大掃蕩戰は酷寒の十二月を迎へて戰機まさに酣、部隊の進擊を阻む魔の密林にも新軍意識の勇氣また凛々、健脚に鞭打ち天下の嶮を踏みくだき、尺餘の雪を蹴立てゝ疾風迅雷支那戰線のトーチカ乘ッ取りそのまゝに山寨から瀬振りへと虱つぶしに紅匪の本據に殲滅的聖火を浴びせて掃蕩戰開始以來茲に二ケ月有餘、赫々の戰果を收めつゝいまや滿洲討匪戰史の末卷を飾る大肅掃戰が吹雪の長白、老嶺南山麓に展開されんとしてゐる

目指すは楊靖宇以下の六匪團、最後の一匪までもコンミユニズムの血を拭へと息つく遑だに與へぬわが釣瓶打ちの討伐に落日の足跡を哀れ積雪に印しつゝ密林から峻岳へと遁走につぐ遁走滅亡への末路を辿る赤い匪賊はいまでは山寨の温まる（一刻とて）なくその塒居地も轉々として本據を持たずさながら密林の放浪匪を思はしむるものあるが、なほも最後のあがきを續ける主なる匪賊を東邊道に探ると共匪の大頭目でありソ聯某大學に留學したといはれる楊靖宇團の四百名をはじめとし崔賢の二百名朴得範の百五十名、陣輪章の二百名、土匪双勝の八十名といつた處で彼等はソ聯製の輕機、擲彈筒を相當所持し何れもインテリ匪を自負してゐるものであるが、今次の大討伐行に徹底的打擊を蒙り現在の匪數、武裝は殆ど不明である

なほ最も注目されるのは共匪の素晴らしいインテリ化で不定期ではあるが討伐軍の眼を盜んでは各頭目が楊の指揮を仰ぎ現地戰術の研究を行ひその襲擊に當つても決して馬賊式發砲騷ぎをせず討伐軍或は警官に變裝して合理的襲擊を行ふに至つたことだ、最近のことだがある部落に宣撫班と稱して酒樽を運び込み村民の油斷を見すかし突如として匪賊に早變り悠然と掠奪を行つたといふ、又掠奪に當つても糧食は（强奪する）が金錢は一時貸借させて呉れといと鄭重に搾取して行くなど匪賊の暴から智への轉換は大いに刮目すべきものがある

志士ビンバーの英靈
國都の土に眠れ
新春の誕生日に盛大な法要

赤魔躍る外蒙を脱出して大東亞建設に奮鬪すること年餘、去る九月七日ノモンハン事件の掉尾を飾つてハンダガヤ高地を外蒙獨立の熱血に染めて新亞細亞の礎に惜しくも散華した志士ビンバー・ジャップ外蒙騎兵大尉の遺骨は盟友の手に護られて過ぐる十月初旬新京に物言はぬ凱旋をなしたが寄る邊なき異境に獨りさすらふその英靈が何處に奉安されてゐるかは今日まで何故か謎の如く秘められてゐた

然るに圖らずも自慰哀悼日の十二日新京東本願寺別院地階の納骨場に懇ろに納められ生前故大尉と親交があり且志を同じくしてゐた治安部の大森理事官、同木古屬官等有志の懇ろな供養をうけてゐたことが判明した

同志の間ではビンバー大尉の誕生日である新春一月卅日を期して盛大な法要を營む計畫がすゝめられてゐるが遺骨は外蒙一勇士として東本願寺別院に託されたゝめ志士ビンバー大尉と知る由もなく今日に及んだもので、かくと判明してからは同納骨場に特別の葬壇を設け異郷に客死した淋しい英靈を懇ろに慰めて居り、十二日は特に同院經營の明倫幼稚園の可愛い生徒たちに靈前でその偉勳を語つて篤く弔つたほどである、尚ビンバー大尉に寄せる熱情から乙女の黑髮を斷ち切つた一少女の宿願達せられて同日保管の坂下健一氏から靈前に屆出られた【寫眞は東本願寺に安置されたビンバー大尉の英靈】

日滿物資交流の圓滑化建議陳情
日滿協和評議員會決定

【東京國通】日滿協會は去る十一月十七日第十二回評議員會の決定に基き十二日日滿兩國政府當該官廳に對し左の建議ならびに陳情を行つた

一、對滿投資促進に關する建議（理由）對滿投資に關し送金については爲替管理令によつて許可手續きを要し、また滿洲國證券流通については屆出或は同證券の買入については許可手續を要する如きまた滿洲國において設立せらるゝ會社の株式につき日本におけるその株金拂込の手續の如き何れもその緩和と簡易化を圖るにおいては更に對滿投資を容易ならしめその促進に效果を齎すべし

二、圓ブロック內における內地品輸入確立に關する陳情（理由）圓ブロック向輸出權は商品別統制團體または地域統制團體を經由して過去の實績を有する內地居住者の手に把握壟斷される實情にあるをもつて內地商品の輸入權を承認され特に關東州の如く整備せる實業組合の實業組合聯合會を組織せる地域に對しては輸入の實績を十分斟酌して輸入權を確立せんことを切望す

三、滿浦線並びに梅輯線の國境驛滿浦鎭における金融並びに通關施設の整備に關する建議（理由）滿浦鎭には金融組合あるのみにて貿易の決濟は勿論同地方へ盛んに流入しつゝある滿洲國々幣の交換等に支障尠からず、また滿浦鎭稅關支所の通關機關は施設不完全にして充分機能を發揮し得ぬ憾みあり、本線將來の使命に鑑み金融ならびに通關施設の整備に適當なる措置を講ずるを緊要と認む

四、日本中小工業の滿洲國誘致に關し日滿兩國政府の積極的助成に關する建議（理由）滿洲國に於ける大工業の下請的中小工業に付ては近來主として日本より轉失業對策として日本よりの委囑が試驗的に行はれつゝあるも生活必需品製造加工業修繕工業の如き雜工業については滿洲國における發達未だ見るべきものなく、この種日用必需品は殆ど總てを日本の供給に依存する狀態にして、これが輸入のため日滿間運輸爲替決濟等に及ぼす影響輕々に看過すべからざるものあり政府は現に生產力擴充計畫の實行上重工業開發に主力を集中しこれが實現に急なるため必需品工業の如きやゝもすれば閑却さるゝ嫌ひあり、されども既定計畫の實行に支障なき限度においてその一部を割き日本中小工業の滿洲國誘致に振向けもつて輸入雜貨の一部につき滿洲國產による自給自足を確保し得るに至らば日滿間の運輸の圓滑、貿易決濟および物價政策に利するところ僅少ならざるべし（滿洲支部の要望）

五、日滿を通ずる綜合的物價ならびに物資配給統制方策の實現に關する建議（理由）日滿支三國を通ずる物價および物資配給統制政策を協議すべき官民合同の日滿支綜合委員會の如きを設置し日本の價格統制令の實施に即應して滿支の物價と日本のそれとの間に調和を圖るとゝもに物資配給の圓滑化を圖る必要ありと信ず（滿洲支部の要望）

六、滿洲生活必需品會社に關し建議（理由）滿洲生活必需品配給會社は國策的立場に鑑み、適切有效なる方法を講じて國內における既存の商業機關との相剋摩擦の排除と緩和を圖り深くその保持改善に留意し、機能發揮を期せられんことを要望するが特に（イ）僻陬の地方に物資の不足を生ずる傾向あるにつき中央地方ともに配給の圓滑を圖ること（ロ）配給會社の取扱商品の範圍種類を限定、これが增減改訂をなさぬやう、また輸入についても獨占輸入品は固くこれを限定し、追加の場合は愼重を期すること（ハ）取扱商品の加工は專ら民間業者に當らしむること（ニ）奢侈品流行品乃至享樂品は取扱はぬこと（ホ）中小商業の將來の順調な發達を助長すること（ヘ）既存卸賣商を配給會社の配給機構々成分子として取入れること

穀粉管理新設
資本金一千萬圓

小麥の價格及び配給を管理統制してその增產を圖ると共に專賣に依る小麥粉並にその代用粉の生產を統制確保するため政府は粉聯を特殊法人滿洲穀粉管理株式會社に改組（資本金一千萬圓）する事となつたが同會社法は十一日の國務院會議を通過した、同會社法の主なる事項は左の如し

一、會社は小麥その他製粉原料、麩の買入、販賣、輸出、政府の依託する小麥粉及び代用粉の收納、廻送、輸出入の事務、高粱粉、包米粉その他穀粉の買入、販賣、麵袋及び麻袋の買入、販賣、輸入その他政府の命ずる附帶事業を行ふ

一、資本金一千圓は政府の全額出資、二分の一拂込

一、理事長、副理事長各一名、理事五名以內、監事二名以內とし全部政府の任命とする

一、會社は小麥の凶作に際しその災害救濟のため主管部大臣の定める所により每事業年度に於ける小麥買上金額中より災害救濟準備金を積立てる

一、會社は產業、經濟兩部大臣の共管とする

必需品會社擴充

生活必需品の輸入及び配給機構を合理化し、物資需給調整並に適正價格の維持に資するため政府は滿洲生活必需品配給株式會社を擴大强化して現在の準特殊法人より特殊法人に改組、資本金を一千萬圓より一擧五千萬圓に增資することゝなり同會社法は十一日の國務院會議に附議可決された、同會社法の主なる點左の如し

一、會社名は滿洲生活必需品株式會社とす

一、事業內容は生活必需品の輸入、買付及販賣並にその委託買付、委託販賣その他前各號に付き經濟部大臣の命ずる附帶業務並に生活必需品の生產又は販賣事業に對する投資

一、增資額四千萬圓は政府の全額出資、拂込は二分の一

一、會社は理事長一名、副理事長一名（以上政府任命）理事六名、監事三名（以上株主總會の選出）を置く

生糸の强敵ナイロン生產開始

【ウイルミントン（デラウエーア州）十一日發國通】生糸の强敵として前途を注目されてゐるデユ・ポン・ネムール社のナイロンは愈よデラウエーア州シーフオード新工場に於て來る十五日生產を開始される旨十一日デユ・ポン・ネムール社より正式發表された、右工場の年產額は約百萬ポンドで右は主に靴下製造原料として使用するものである

楠見文書科長

產業部文書科長に決定せる農林省調查課長楠見義明氏は十三日新京着あじあで大連經由着任する、尚商工省物價局第二物價課長に榮轉の產業部文書科長始關伊平氏は十六日新京發はとにて大連經由赴任の豫定である

幼兒の運動は
まづ全身を動かす 自然の遊びを助長
競爭意識より頑張りを教へる

幼兒の體育 運動についてはとかく無關心に過ごされてゐる憾みがあります、幼稚園などでもたゞ漫然と遊戯をさせるだけで、幼兒の體育について自覺しやつてゐる所は少いやうです、文字を教へたりする幼稚園もあるやうですが、これは全く邪道です、一般に幼稚園へ行つた子は行かなかつた子よりも入學當時おませで物識りですが、二學期、三學期になれば差別がなくなるものです、早く知識が多くなつても別に頭がいゝと限らず、成長するに從つて體が惡くなり、勉強もできなくなるのが多いのですから、幼年時代は何よりも體育に氣をつけることです

◇ ◇

まづ幼兒は 身體的に十分に發育してゐませんから、全身的な運動がよいわけで、身體の一部を動かす部分的な運動はよくないのです、走るとか、跳ぶとか、物にぶらさがるとか、四つばひで歩くとかいふ全身的な、しかもごく自然な運動がよいわけです、四つばいなどは腹の運動にもなり、手足の運動にもなつて非常によいものと思ひます

スキップやギャロップは滿三歳からできる運動ですがこれは子供が嬉しいときにリズムをつけて走る方法をそのまゝとりいれた自然な運動で、殊に音樂に合せてやれば理想的です、幼兒には同じ運動を長くつゞけさせることはよくないことですから、絶えず變化を與へるやうに心掛けなければなりません、面白い樂しい環境にゐると、幼兒はその疲勞に氣がつかないでゐる場合が多いものですから、一つの運動はせいぜい三分以上とゞめて、その後は自由な姿勢で休ませるやうにします

◇ ◇

家庭では 成るべく幼兒を日光に當てるやうに心掛け、外を歩かせることがよいのですが、ラヂオ體操も全身を動かす運動としてよいものです、小さな子供は大人のまねをしたがるものですから、お父さんやお母さんがラヂオ體操をすれば、一緒になつてよろこんでやります、またお掃除なども大人のすることをしたがるものですから、お母さんは邪魔扱にせずに、子供に向く小さな雑巾なり、箒なりを與へてやらせるやうにすれば、全身的な運動具がなくとも立派な體育運動ができるものです

◇ ◇

また種々の 運動をさせる場合には精神的な指導をすることも大切、同じ懸垂をさせても甘えッ子はすぐやめたり、泣き出したりし勝ちですが、だんだん長くこらへてぶら下つてゐるやうに指導すると意思を強固にすることができます

走る運動は幼兒では往復二十五メートルぐらゐが適當ですが、子供同士でかけつこする場合三、四歳の子供はまだ一番とかビリとかいふ競爭意識がありませんから、例へば向ふの壁に必ず手をつけてから戻つて來なさいとよく言ひふくめておけば、ビリになつても必ず壁に手をつけて戻つて來るものです、ところが五六歳から七歳位の子供になると、一番にならうといふ競爭心が出て來ますので、先頭の子が壁に着いて歸つて來ると、とかく途中で引きかへしがちになります、かういふ場合は必ず向ふの壁なり、柱なりの目標に手をつけてから戻つて來るやうに、いやでも、つらくも是非やり通させるやうにしなければなりません、かうすれば命令に對する服從の觀念も養はれるものです

白菜料理 今が出盛り

甘酢漬 葉を一枚づゝはがし熱湯で半煮になる位にさつとゆでゝ、水にとり冷ましてから水氣をしぼつて大きな器に葉を揃へ重ねておく、次に唐辛子をフライ鍋に入れラードを加へてこがす位にいため、しやもじでくだいて煮出汁(または湯)をさし、酢を同量加へて鹽と砂糖を甘酢になるやうに加へ、煮立たせてこれを白菜の上からそゝぎ入れ壓蓋をして輕い石をのせそのまゝ日二間おいて取出し、唐辛子を除き水氣をしぼつて一寸五分位に切つて皿に盛つてすゝめる

渦白菜 よくまいた白菜を洗ひ、株のまゝ縦半分に切つたものを湯を煮立てた中に入れてゆで、鹽、醤油でうすく味をつける、ゆだつたらまた板の上にとり出し、株の根元に庖丁を入れて二つに割り、クキの部分と葉の部分とが等分になるやうにいれ違ひに重ね、外側の葉でぐるりとまき三センチ位の長さに切る、深皿に切口の渦になつた方を上にもりつけ、殘つた汁を靜かにそゝぎ入れる、七味唐辛子をふりかけお汁を吸ひながら食べるのです(一名假味噌汁といふ)

白菜と干海老 白菜は縦四つ割りにし、更に三センチ位にきる、油でよくいため醤油で味をつけてまぜながら甘く煮、メリケン粉の水どきしたものを加へとろりとさせる

白菜と薄葉の 卵とじ白菜は洗つて水氣をとり、縦半分に切り小口からきざみさつとゆでる、薄揚げは四隅を切り、二枚にはがして小口から繊切りにし、ざるに入れ上から熱湯をかけ、油氣を切り鍋に入れ、白菜も共に入れ煮出汁少々を加へて火にかけ、煮立つてきたら砂糖、醤油を加へて煮込む、卵をわりかきまぜて少しづゝ白菜へ流しこみ、卵が半じゆく位になつたら火から下して器にもつて供します、榮養價値の高い料理です

白菜巻 大豆をいり少量の鹽を入れ飯をたく、白菜はゆでる、干エビは油でいため醤油、砂糖で味をつけておく、白菜をひろげ飯をのせ干エビを中心にして巻き適宜に切る

日支親善の櫻 北京萬壽山へ
輝く二千六百本

輝く二千六百年と近く誕生する新政權を記念して國際觀光局から北京萬壽山に櫻二千六百本を送り、春來る毎に日支親善をたかめやうとの計畫は各方面の贊助を呼び、中でも帝大名譽教授牧野富太郎博士以下の植物學者から非常な關心が寄せられ日本植物學の粹を集めて移植方法を研究中のところ、この程絶對に枯れない櫻として左の五種の櫻とその產地が決定した

一、吉野系山櫻(武藏小金井產)五百本
二、染井吉野(埼玉縣安行產)五百本
三、八重櫻(產地右と同じ)五百本
四、枝垂櫻(仙臺產)五百本
五、大山櫻(一名紅山櫻、札幌產)六百本
(合計二千六百本)

右は北京が割に冷寒の地であるところから東京以北の地から選定され、牧野博士以下の植物學者と氣象關係の權威中央氣象臺の中原技師等によつて最適と折紙をつけられたもので、その發送荷造方法に當つては東京市の井下公園課長が責任をもつて當り、植物檢査所からも係員が横濱に出張、船の積込みに萬全の注意を拂ふことになつてゐる、一方過般來朝した北京萬壽山事務所長王顧氏は北京でも農學院の學者を總動員してこれを迎へる旨を約束、地質や日光、風等の受け具合を研究した上日本の發送に先立ち入鍬して到着したら直ちに植樹出來るやう用意することになつてゐるので、日支親善の櫻は同時に日支植物學の固い握手ともなる譯である【東京國通】

蜜柑の皮利用法
こんなに役立ちます

蜜柑の皮に糸を通しつるし乾かしにして、よくよく乾燥させた上細かくくだいて擂鉢ですり、毛篩でふるへば蜜柑の粉が出來ます、これを藥味として味噌汁や清汁に少し加へると、甚だ風味を増すものです

×

この蜜柑の粉を蚊いぶしに混ぜて用ひると妙です、これに除虫菊粉を少し加へるとノミ取粉になります

× ×

皮を一度ゆでゝ細かく刻み布の袋に入れて叩いてくだき、どんぶりに絞ります、別に水一升に對し酒石酸四五匁と白砂糖を適宜に加へてよくかきまぜて置き、前の蜜柑汁を入れるとおいしい飲料が出來ます、これを溫めて飲めば體が溫まること請合です

× ×

誰でも知つてゐるのが蜜柑の皮をお湯に入れること

塵も積れば・富となります
馬鹿にならない芥

塵芥は廢品に非ず、塵だ芥だと蔑まれてゐたのは昔の夢、今日は國をあげて廢品回收の聲が叫ばれてゐる時代です。物資の厚生利用の有力な一方法として廢品の活用が考へられるのは當然のことでせう、土壤肥料學の權威大陸科學院の農學博士柏野新夫氏はこれについて次のやうに興味ある更生法を話されました。

物資供給から見た塵芥

われわれの日常生活に必要な物資の自給自足を圖ることは平時は勿論、事變下においては尚更大切です。物資供給には積極的な方法と消極的な方法との二つがあります。積極的な方法としては新資源の開發、物資の増產、代用品の生產等があり、消極的方法としては從來ある物資の節約利用によるより他ありません。これらの兩方法が相俟つてこそ初めて物資を充分に供給し得るのです。積極的な方法については今更述べるまでもありませんが、消極的方法としては塵芥の節減を圖るとゝもに生出された塵芥利用の途を考へることが最も大切だと思ひます。毎日多量に廢品化して行く大都市の塵芥處理裝置と利用法についてお話しませう。

塵芥は廢品に非ず

塵芥といへば一概に廢物のやうに考へられてゐますが必ずしもさうではありません。事變下の國民全體が日常生活の諸方面に節約を行つてゐる現今でも毎日日本の全都市を通じて少くとも二百五十萬貫内外の塵芥を出してゐます。これらの塵芥中には十種以上の有價物資が包含されてゐて各々一萬貫もあつてそれは各々少くとも二、三百圓の價を持つてゐます。ですから全日本で空しく廢品となつて行く毎日の塵芥の價は五萬圓乃至七萬圓に上り、一ヶ年には二千萬圓の巨額にも達します。これは原料としての價であつて、これ等が製品化された場合の價格は原價の數倍となるから國家經濟上から見ても大問題といはねばなりません。これらの回收さるべき物資は國策遂行上に肝要なパルプ原料燃料、飼料、肥料、金屬その他ですから一層の注意を要します。

塵芥の處理方法は?

ところがこのやうに重要性を持つ塵芥を從來各都市とも莫大な經費を費してしかも厄介視しながら處理してゐるのです、東京市の例を見ると毎年百五十萬圓を費して大部分燒却、放流、埋沒され極く小部分が近在の農民の手によつて自給肥料の原料として利用されてゐるに過ぎぬ始末です。燒却法は表面的にみた場合は文化的であると考へられますが、有價物資に火を點けて燒拂ふといふことは原始的な非常識極まることゝ云はねばなりません。殊に不燃燒物を多量に含む塵芥を完全に燃燒するには相當の經費を要するので尚更不經濟で、しかも屢々惡臭や煙に惱まされる場合が多い放流法は有價物資を單に放流するのですからこれも不經濟であるばかりか河岸や海邊に漂着して漁民を苦しめることがあります。埋沒法も不經濟、非衛生的で、或る都市では埋立地からメタンガスが發生し附近住民がガス中毒にかゝつた例さへあります。

機械による塵芥處理法

ではどんな方法によつて塵芥を有利に處理すればよいかゞ問題となりますが、この問題については昨年末田和亥之太氏が徳島縣農會における數年間にわたる熱心な研究の結果、有效な選別方法を完成してをります。この方法により選別される有價物資は肥料(三・七〇%)飼料(五・五%)、紙屑(五・〇%)、ボロ(一・〇%)、稻藁(三・〇%)、鐵(〇・三%)、その他の金屬空罐木片(四・二%)、ゴム(〇・一%)、皮、硝子ビン、破損ガラス(〇・二%)、毛髮(〇・二%)セルロイド等で一見無價値とみえる土砂、砂片、陶器等も必ずしも無價値とはいへません

有價物資の利用法

裝置によつて選別された有價物資の主なるものは自給肥料の原料となるもので、この原料中には從來農民が施肥に躊躇したガラス、釘その他の危險物は皆無といつてもよい理想的な有機物のみです。又飼料價値のあるものが一〇%もあるので家畜、主として養豚用にも適し一萬貫の塵芥で五〇〇頭位の養豚が可能とされてゐます。しかして豚屎尿と塵芥を混じて有效な堆肥が製造されるのです。次にパルプ原料としての紙屑、ボロ及び稻藁等からは再製パルプ、木片からは粉炭、活性炭が製造されます。なほこの他にゴム類、皮類、ガラス類等が含まれてゐてこれも相當の量に達すると容易且つ有利に賣却することが出來ます。この選別裝置の特長を總括してみると

1、從來燒却その他の方法によつて廢品化してゐた塵芥を有價物資となし得ること

2、有價物資と雖も個々に少量づゝ存在してゐたので殆ど無價値であつたものも有價値とし得ること 例を擧げて說明すると破れたゴムマリ一個だけでは反古屋も貰つて吳れないが何十何百となると相當の價格で賣却することが出來るわけです

3、この方法で處理すると煙、惡臭等を發することなく人屎尿も堆肥製造中に衛生的に處理されることも特長です

この選別裝置は以上のやうな意味を持つものであつて國家的にみても年に數千萬圓の無盡藏の物資回收が可能となるわけです。この每日四萬貫内外の塵芥が生出される新京や奉天、哈爾濱大連等の大都市においても廢品化して行く塵芥の活用法を考へて戴きたいと思ひます

兒童の作品
東京
東光小學校四年 見藤 信子

私は東京で生れました。私がどこへ行つてもわすれられないのは東京です。

私が東京を立つたのは今年の七月十九日でした。その日はとてもよいお天氣でした。東京驛はいつでもたくさんの人でこんざつして居ますが、その日も大へんな人出でした。旅に行く人見送り出迎の人たちで、ズラットホームはにぎやかで私たちを見送つて下さる人もたくさんありましたが、今東京をはなれるのだと思ふと、私は何だかさびしく思ひました。

「ごきげんよく」「さやうなら」とさいごのごあいさつをした時にはほんとになけて來ました。

私は今でもあの時の事をはつきりおぼえて居ます。だんだん見えなくなつて行つた東京の町、あのさびしかつた時の氣持は今だにわすれません。

私は今新京でしあはせに勉強してゐます。しかし東京のことを時々思ひうかべてゐます。新京も寒くなつたが、東京も寒いだらうな私は今防寒帽をかぶつて運動場で遊んでゐるが、東京では防寒帽もないだらうし寒いだらうとも思ひます。

私の通つてゐた北浦小學校の事もよく思ひます。

私は大きくなつたら一ぺんは東京にかへります。そして先生やお友達におあひします。私はいつも遠足の時にうつした寫眞を見てゐます。皆が三笠艦のそばで風に吹かれ乍ら嬉しさうにニコニコして居るのを見るとほんとになつかしくなります。

私は東光小學校の生徒として、りつぱに勉強し、北浦小學校の名をよごさぬようにしたいと思ひます。教へていたゞいた先生方に喜んでもらへるようにいつしようけんめい勉強したいと思ひます。

私はあのなつかしい東京をいつまでも忘れません。

ラヂオ けふの番組
十三日【水曜日】【M・T・C・Y 新京放送局】

朝

七、三〇(新京)ニュース 建國體操
七、四八(大連)入港船のお知らせ
七、五〇(新京)ニュース
八、〇〇(大連)初等滿洲語講座―幸勉
八、二五(大連)朝の音樂(レコード)チェロ小品集 夕べの唄(シューマン作曲)夢の後に(フォーレ作曲)からたちの花(山田耕筰作曲)今様(山田耕筰作曲)マラゲーニア(アルベニス作曲)チプシーの唄(モルテット作曲)
九、〇〇(新京)氣象通報
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東・奉)經濟市況
九、四五(新京)建國體操
一〇、〇〇(大連)經濟市況
一〇、〇五(哈爾濱)幼兒の時間「お話と童謠」哈爾濱幼稚園々兒、お話山中龍淵
一〇、二〇(新京)家庭の時間「時局謡曲のお稽古」杵家彌七
一〇、四五(大連)家庭メモ
一〇、五〇(大連)料理獻立
一一、〇〇(新京)食料品値段
一一、三五(奉天)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝

〇、〇一(新京)晝の演藝(レコード)浪花節、大和撫子こゝにあり(天中軒雲月)
荒鷲の母(東家三樂)
〇、二〇(大連)歌謠曲(レコード)支那の花嫁(樋口靜雄)蒙古の乙女(横山郁子)
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇〇(奉・連)經濟市況
二、一〇(奉・連)經濟市況
三、二〇(東京)經濟市況
四、〇〇(東・新)ニュース
四、四〇(奉・連)經濟市況 氣象通報
五、二〇(新京)ニュース 演藝「鮮語」

晩

六、〇〇(大阪)子供の時間、朗讀「南京だより」大阪晋樂教育研究會
六、二〇(新京)コドモの新聞
六、二五(大連)趣味講演「義士劇挿話」水口微陽
七、〇〇(東・新)ニュース 告知事項
七、三〇(大阪)國民歌謠(獨唱阿部幸次、齊唱JOBK唱歌隊女聲部、伴奏大阪ラヂオオーケストラ、指揮須藤多鎖雄)一、獨唱南京空襲 二、齊唱日章旗を仰いで
七、四〇(新京)講演「南京攻略戰に參加して」滿洲國通信社 社會部長大鋸時生
八、〇〇(大阪)ラヂオスケッチ「その日の南京」杉本アナウンサー他
八、三〇(東京)詩吟物語
九、〇〇(東京)講談(忠臣藏特輯)義士銘々傳「勢揃ひ」一龍齋貞山
九、三九(東・新)時報、ニュース、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

學藝

戲曲

日出（完）

曹禺作　大内隆雄譯

（朝の光が漸次窓から射して來る、日影は先づ屋根の庇に射す。白露は門をしめる、中央の卓の傍に行つて腰を卸す、ぐつたりとなる、彼女は立ち上り二三歩あゆむ、名殘り惜しげに室内の設備を見廻す。彼女は又ソーファの傍へ行く、酒の瓶を取る、酒をつぐ。すつかり何杯かのむ。彼女は立ち上りソーファの前でじつとしてゐる。

（中央の戸がガタッと開き、福升が入つて來る。）

露　（押しつぶされたやうな聲で）何なの？

福　もう夜が明けましたよ、お陽様が出て來ましたよ、まだおやすみになりませんか？

露　えゝ、わかつてるわ。

福　豆腐のおつゆでもあがつてからおやすみになつては？

露　いゝえ、要らないわ、あつちへ行つて頂戴。

福　（ポケットから一くるめにした書付を取り出して）小姐！……これは今日拂はねばならん勘定書です、此處に置いておきます、まあ計算して下さい。（書付を中央の卓に置く。）

露　いゝわ！そこに置いといて頂戴。

福　何も要りませんか？

露　（首を振る）

（福升、白露に背を向け欠伸をして中央の戸から出て行く。）

（白露、酒を飲み盡す、中央の卓に行きゆつくりと書付をひろげる、一枚見るとそれを下に棄てる卓の前は紙でいつぱいになる。）

露　（大きく溜息を吐き）ううん。

（彼女は卓から催眠藥の瓶を取り、窓の前のソーファの所に行く、ぐんなりと腰を卸す、ソーファの左側に立つてゐる衣裳鏡に映つた自分を見出す立ち上る、鏡の前に行く。）

露　（左右前後、美しい女の姿を見出す、又ゆつくりと鏡に向ふ、首を振る嘆息をする、さびしげに）まあさう見つともなくはないわ（一寸間）そんなに老けちやゐないわ。でも……（甚だゆつくりと溜息を吐く、彼女はもう見ようとしない、ゆつくりと又中央の卓の所にかへる、一つづゝ藥瓶から藥を出す、笑ひ顔、聲と態度は孤兒の娘みたい、一人で部屋の隅に行き、錠劑の藥をとる、甘く、物さびしく、自分自身を憐れみ）一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ、十。（彼女はそれをしつかりと握り、殘つた空の瓶をエイ！と痰壺に投げ込む彼女は腕を卓の上に伸ばす、前の方を見、微かにうなづく、悲しく）この年で、こんな美しいのにこんなに——（涙が出て來る、彼女は元氣を出し茶碗を持ち、向ふを向き一口、二口、藥を飲んでしまふ。）

（陽光がだんだん射して來る、狼藉した床を照す、空は大變明るい、外で地均らしをする苦力たち一緒に集まつて來る、陽光が遠くから射し「ウンウンヨウ、ウン、ウン、ヨウ」としつかりした歩みでやつて來る。木が一つづゝ土の中に入つて行く、重い石が落ちる、譜した聲を出す、沈んだ聲でウンウンヨウ、ウンウンヨウ」と呼ぶ、苦力たちは兵士の如く歩んで來る、まだ「叫號」は始めてゐない。）

露　（杯を落す、外の木の音を聞かうとする、彼女は胸を張り窓の前に行く、カーテンをあける、陽光彼女の顔を照す、彼女外を見る、低聲に）「太陽が昇つて來た、闇は後にある（彼女は冷めたい大氣を吸ふ、身ぶるひをし、こちらを振り向く）でも太陽は私達のものぢやない、私達は睡らなくちや。」（彼女は急に燈を消し又カーテンをひつぱる、室内は暗くなる、ただカーテンの隙間から一筋二筋の陽光がふるへつゝ入つて來る。彼女は胸をねぢらす、胸が苦しくなつて來たらしい 彼女はソーファの上にあつた一冊の「日出」を取るソーファに横になつて靜かに讀まうとする——

（甚だ遠くに苦力たちの歌が聞えて來る—「輔號」である、だが歌詞ははつきりは聞えて來ない）

外で方達生の聲　竹均！竹均！（聲は戸の前に來る彼女は急いで本を下に置く、立ち上る、戸の前に行き、彼と知る、あたりを見廻す、卓の上の書付を集める、又「日出」を取る、急に左の寢室に入つて行く、もうその足の運びはしつかりはしてゐない、入つて戸をよくしめる。）

外で方達生　（低聲に）竹均！竹均！誰もゐないのかね。竹均！竹均！私はもう行くよ（答へなし）竹均ぢや入るよ。（外で雀の聲。）

（方達生、戸を開けて登場。）

達生　（左右を見）竹均！あのね—（部屋が甚だ暗いのを知り、窓前に行つてカーテンをあける、陽光は室にあふれる、雀はチッチッと啼いてゐる）全く變だ、何で日光を入れんのかね。（左の寢室の前に行き）竹均、一と言お聞き、君そんなにしてやつて行つては、きつとだめになつてしまふぜねえ、僕と一緒に行かんにしてもあゝした連中と交際してはいけないよ、いゝかね？ねえ（窓外を指し）外は日光が照つてゐる、もう春なんだよ（その時苦力たちの聲近づいて來る。「日出だ、日出だ、空も地もみな眞つ赤だ…」をうたふ。僕たちは一緒に金八をやつつけねばならん、僕達はまた…きつと出來る（中で返事せぬのを知り）竹均、何で返事しないのだね？（低く戸をたゝく）何でだまつてゐるんだね？君——（彼は振り向き溜息を吐く）君は賢いよ、君は僕がこんな馬鹿なことをするのに不滿なんだね（元氣を出し）いゝよ僕は先きに行くよ、竹均、おやさようなら。

（中で返事なし、彼は振り向き窓外の歌をきく、陽光は中央の戸からも入つて來る。）

（外から部屋に射して來た太陽は窓外の一切を輝かしく照してゐる）

（勞働者たちの元氣な歌「東に日の出、空は赤い食ふには働かねば！」重い石のローラーが進む、その聲は生命の流れの如く訴へて來る、前進だ！宇宙に滿ちるのだ！室内は暗澹とし外は愈よ明るくなる。靜かに幕。

お粗末過ぎる

綠川貢「望郷」（『電電』十二月號）

仲々に達筆である　滿洲に來た青年に襲ひかかる懷郷病、その病態もよく描けてゐると言ふべきであらう。

だが、これだけでは餘りに短篇的、餘りにお粗末な氣がする。もつと何かあつてもよいではないか。ただこれだけでは、もう何十年の昔に、文學青年、文學少女たちによつて書かれてしまつてゐる境地と全く異らないのではないか、さう考へられるのである。（御垣衛士）

隨筆

詩のない日

西谷正夫

心に詩のない日、そんな日が私にとつては樂しい、心の底にいつももやもやとうごめいてゐるもの、それが何であるか私は知らない、知つてしまふのは私にはこの上もなく怖しい。靜かな反省に一日を過すことのできる日。私にはこんなとき詩のない日を思ふ。山は甘い表情をもつてゐる。疲れたすなほな心にしみじみと清らかな愛情をかもしださせてくれるのもそんなときは全く詩のない日である。

私はいま歩いたこの町が原則としてはあらゆる思ひでの中にこめられてゆくのを知つてはゐるのだが、かうした私は夜の嵐にさまよつてゐる船を思ふのである

心に詩のない日。そんな日はなにごとに對しても無感動である。そんな日は私は呆然自失してゐるのである。この心を持つことのできる日は心に詩のある日よりも苦しい。

さういつた詩に對する愛情からみれば私はたまらなく樂しい。

だがこの詩に對して私は無感動であるといふのではない。私はまだ稚い。旅人は自分の家にかへるときにもはつきりした意識はもてない。それと私は同じかも知れない。さういつてゐるうちにも私はやはり詩の中へ歸つてゐる。

わたしはいつの日からか愛人といふかぎりない雲をたまらなく倦みはじめてゐた。私は詩の中にすつかり浸つてゆけるときを樂んでゐる。だがこのひとびとによつて私は詩を作ることを知りはじめた。咲きそめた野ばらの濤麗な香りに抱かれて誰が詩を思はないときがあらうか。この激情も年齢の樹間には、すべて輝かない。この愛こそはまことに黄金である。そのときに色さまざまにすべての人は詩をもつ。

そのときこそあなたの詩はひつそりと手のとゞかないその彼方にある。

微風の旋律につゝまれたあなたの春。

わたしは詩のない日を思ひたいのであるがわたしのこのめざめはどこからきたのであらうか。私は淨らかなあかつきの海を思ふ。わたしの詩のない日の倦みはどこへいつたのであらうか私は詩のなかの私をはるかにこえた向ふに私がゐるのを知つてゐる。

だがそれも詩のない日の仕業かも知れない。はつきりとめざめた生命の虹、私はそんなことより私のほんとの心をつかみたいことで毎日をいらだゝしくすごしてゐる。私はまだ自分をはつきりつかみ得てない。

それがその方がさいはひであるかも知れない。心に詩のない日。そんな日が幸福であると思ひだしたのはついこのごろである。

私の周圍にある人。それも若い母性。少女といつた方が適切であるひとびと。しかし私は年齢からいつてゐるのでなくて、彼女達の生活觀、人生觀、社會觀からうける稚ない表情から少女といふのでもあるが、あのひとびとがあゝいつた狀態からぬけでることのできないのもかうしたことからではないのかとふつと思つたりするのであるが。

ぽつんとひとりで茶房の一隅で珈琲をのんでゐる自分をみいだして、いひやうのない孤獨の淋しさにじつとうづくまつたりするのである。

ゆふべ同人の菫川千童の詩集出版記念會をすましてのかへりに吉野町のフルーツションによつたのだが、同人のS氏いきなり、水をくれといふ。私も彼らしい言動に微笑みがうかんだのであるが、菫川氏に對しは私たちいひやうのないすまなさを感じて心でわびたいやうな氣持にさへさせられたのである。

私はこんなときのお互の胸に詩のない心をみいだしてほつとしたりするのであつたが、このときそつと入つてきた戀人らしい二人連が私たちを背にして二人とも壁に向つて、坐つたのには、私も意外な感じで彼等の純情ぶりに祝福さへしてやりたいやうな氣持にもなつたが、菫川氏らしくもない言葉が吐かれたときには彼の人間味を別として憤りに似たものがこみあげてきたのであるが、私は私らしい見解で、彼の心境に同情を感じたものである。

砂をにぎり
砂をにぎり
いくたびか同じ動作をくりかへす
言葉はすでにその意味を越え。

私はこの詩のない心よりも矢代東村の歌にみられる素朴な實直さを愛する氣にさへなるのである。

詩のない日。私にはさういつた一日がもてさうにもないのである。

さういつた一日もさうではないかと思はれる日は隨分あるのであるが淋しいはかない願ひにしかなりさうにない。

私は自我をもたない。心に詩のない日。そんな日が私にとつては樂しい。

さういつた自己をみいだして思はず慄然とするのであるが。

淋しい願ひではないだらうか。

—十一、六—

新年文藝懸賞募集

規定

一、創作（小説、戯曲）四百字詰原稿紙二十五枚以内
一等　二十圓　一名
二等　十圓　二名
選外佳作　本紙三ケ月分贈呈券

一、詩（題隨意・一人一篇）
一等　十圓　一名
二等　五圓　一名
三等　三圓　一名
選外佳作　本紙一ケ月分贈呈券

一、短歌（一人三首以内題隨意）
一等　五圓　一名
二等、三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ケ月分贈呈券

一、俳句（一人三句以内題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ケ月分贈呈券

一、川柳（一人三句以内題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ケ月分贈呈券

銓衡

各種とも本社内に設置の詮衡委員會にて入選を決する。

注意

短歌、俳句、川柳はハガキを使用されたい。創作、詩は原稿紙。原稿は返戻せず
送り先は「新京永樂町四ノ一新京日日新聞社編輯局」宛、なほ封筒表皮、ハガキは裏面に「新年文藝應募原稿」及び作品種別を朱書のこと、郵税不足のものは受附けず

締切

康德六年十二月二十日（同日着最後便を以て、嚴に締切る）

發表

康德七年（昭和十五年）一月一日本紙上、なほ賞金其他は發表後一ケ月を經て送付す

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△法律時報（十二月一日號）（大連伏見町、法律時報社、二十錢）
△黎明（十一月號）新京自動車會社の機關誌（新京興安大路・新京自動車會社）
△興亞經濟時報（十二月五日號）「食糧公定價の實施」「人物素描富田勇太郎」等（哈爾濱外國八道街、興亞經濟時報社、四十五錢）
△精軍（第二百四十四號）（治安部調査課）
△經濟統計月報（十二月號）（大連商工會議所三十錢）

元祿快擧を斷う觀る（二）

陸軍歩兵大佐　谷萩那華雄

赤穗義士に關する書籍は汗牛充棟も啻ならぬものがあります。私は大尉時代に教育總監部に勤務し、皇軍精神教育の資料編纂を命ぜられ、その際赤穗義士の研究も致したのでありますが資料中信を措くに足ると思つたのは次の樣に記憶してゐます。

殿中爭鬪の實況に就ては梶川與惣兵衛筆記、内匠頭切腹の眞相に就ては田村家記錄。

吉良父子及び淺野大學の身上に關しては上杉年譜及び淺野家記錄。

赤穗城引渡し、諸士の解散並びに四方潛伏の實情は在藩の士が赤穗より見たる城引渡し一件書類及び在府の士が江戸より見たる江赤見聞記。

爾後の義士の嘗めたる慘憺たる苦心に就ては、堀部安兵衛筆記に留めてある同志の書翰四十數通により之を知ることが出來ます

又討入りの作戰計畫は、前後二回大石の發せし訓令に就て明かなるべく、討入りより四家御預け迄の有樣は、大石・原・吉田等の手に成れる討入り實況覺書の外、白明話錄なる書物があります。

而して收監より伏刄までの記錄は、細川・久松・毛利・水野四家の各記錄の外に、細川家の分は堀内傳右衛門覺書、久松家のは波賀淸太夫覺書、毛利家のは齋藤治左衛門手控、水野家のは東條守拙の赤穗義士話に比較的正しく書いてあります。

義士處分に關する一件書類は、評定所咨申及び荻生狙徠建言、徳川御日記・徳川御實記で判ると信じます一蕃個々の忠姦・勇怯・義不義等に就ては、神崎與五郎・前原伊助の赤城盟傳に大膽に素破拔かれて居ります。

眞僞を探究し之を綜合した良參考書は、福本日南先生の「元祿快擧眞相錄」であると思ひます。御閑の折り御一讀を御奬めいたします。

◇　◇

主家の變報が初めて赤穗に達しました時、城中に來會したものは三百餘人でありました。

籠城、續いて殉死の神盟には、續ち五十餘人に減じたのであります。

元祿十五年春頃内藏助の哀願が公儀に取次がれ、又其の運動着々効を奏して主家再興の曙光が見えたとなれば、此の際忠義の態度を裝ひ置き、他日再興ともならば次の拔擢に與らんとの劣情から、同志は復た俄に百三十人に增加しました。

而して此の希望も全く解消し、淺野大學は左遷せられ遂に博浪の一戰てふ最後の段階に逢着致しまして、一黨が東下して決行を準備する日になれば、急轉直下僅かに血盟の士は五十五人に減りました。

擬て、これだけは大丈夫と思ひの外、いざ討入りといふ場合に近づき、全く殘り留まつた鐵心石腸の義士の數は實に四十七人であります。

人心の賴み難き斯くの如くでありますが、然し五萬三千五百石の一小藩から、かくも誠忠無比、日月と光を爭ふ程の義士四十七人を輩出したといふことは、流石淺野家がその政治に、其の教育に、代々の力を致した結果であると存じます。

◇　◇

義士四十七人の年齢は七十歳代が一人、六十歳代が四人、五十歳代が五人、四十歳代が同じく四人、三十歳代が十八人、二十歳代が十三人、十歳代が二人であります。

これに依つて觀ますれば苟くも名節を勵み志氣昂れば、老幼の差別は全くないのであります。白髮の老翁も、元服間もない少年も、身を捨てゝ勇躍仁を成すのであります。

而して力の方面を代表するものは、やはり二十代から三十代の血氣盛んな青年であります。然し大石・原・吉田・小野寺等の思慮圓熟せる四十歳以上の人々がゐて彼等を指導しなかつたならば、決して終極の目的は達し得なかつたらうと思ふのであります。

この頃若い人々は年寄りは駄目だなど申しますが、これは大いに鑑みる所あつて然るべしと存じます。

◇　◇

義士四十七人の石高は、三十一人迄は百石以上若しくは夫れと同格の士であります。即ち三分の二は歴々たる上士であります。そして殘りの三分の一即ち十六人は二十石十石、甚だしきは五兩三人扶持の徒士横目迄を包含した下士でありました。

例へば臺所の味噌用人三村次郎左衛門の如き、股立取つて殿先を警蹕した足輕寺坂吉右衛門の如きがそれであります。

當時は所謂元祿時代で、弓は袋に刀は鞘に、華奢淫靡の風潮滔々たる平和享樂の時代であります。士風頓に衰へた時代ではありましたが、然し戰國の餘韻は猶ほ存し、『高祿の士は一國の大事に當らなければならぬ。』といふ責任觀が武士の上流社會を約してゐたと觀るべきでありませう。

明治維新の際は西鄕吉助は茶坊主より、大村益二郎が藪醫者から、眞木和泉が神主から、月照法師が廢寺から飛出しました如く、國難に奮起した者は何れも中流以下の人士でありました。

時勢は動くのであります明治維新は元祿壯擧を相去る百五十餘年であります。然し社稷の憂は既に、上流人士より中流以下の雙肩に落ちてしまつたのであります。

◇　◇

次に義士中に親子──實子もあり養子もありますが──相揃うてゐるのは次の方々であります。

大石内藏助及び長男主税、吉田忠左衛門及び長男澤右衛門、間瀬久太夫及び長男孫九郎、間喜兵衛及び長男十次郎、次男新六、村松喜兵衛及び長男三太夫、堀部彌兵衛及び養子安兵衛、小野寺十内及び養子幸右衛門、奥田孫太夫及び養子貞右衛門の八名でありまして、此の外岡野金右衛門及び矢頭右衛門七の二人も然りと見るべきで、合計十人であります。

岡野金右衛門は長男九十郎と共に同盟に列し、開城後も赤穗に居住し時機の到來を待つてゐたのでありましたが、老齢のことゝて元祿十四年十一月十日病死致しました。九十郎は深くこれを哀み仍て亡父の名を襲いで第二の金右衛門となり父の志を成したのであります。

又矢頭──「やとう」と人々は讀んでゐますが「やこうべ」と讀むのが本當であります。

矢頭長助は生年十六歳の長男右衛門七と共に同盟に就いた。内藏助は右衛門七少年が可惜當の花を散らすに忍びないので『貴殿の御親父既に同盟に列せる上は矢頭家の忠誠はそれで證明された。尚ほ貴殿は仕官はしたが日も淺いことだから、退いて一家の祀を存せられよ』と懇諭したのであります、所が彼は紅顏に朱を注いで、『それは太夫の御言葉とも存ぜぬ。父が殉難致しますのに子として座視することが出來ませうか。身不肖ではありますが、兒小姓として既に一年仕へ奉つた者、犬ですら一日飼はるればその恩を忘れませぬ。まして萬物の長たる人間をやです。只今の御取除きの御言葉は畢竟私奴物の役に立たぬと存じての事でありませう。さらば私この場に於て切腹なし微意の存する處を明かにするより外はございませぬ各々方御見屆け下さい。』と肌押し寛げ正に短刀を腹につき立てんとした。並居る人々打驚いて押し慰め、一座その決死の意氣に打たれ暗涙に咽び、遂に内藏助も血判を許したのであります。

然るに其の後親子は大阪に移り、次で大義を議せんが爲め上京中、父の長助は重患に罹り日一日と危篤に陷りました。自ら再び起つことが出來ぬと觀念した父長助は、右衛門七を枕邊に呼寄せ、

『我等豫々太夫と協議した一擧の大義も其の時節未だ到來せぬのに、弓矢八幡にも見放されたか今を限りの命となつた。さりながら死すとも我が忠義の魂は生きて居るぞ。こゝにこの枕邊にある一領の腹巻は、いざ討入りの其の日に着用せんと思つて用意して置いたものだが、それも今となつては徒事となつた無念さよ、そちは年若ければ何卒父のこの志を繼いで此の腹巻を父と思ひ、討入りの其の日はこれを着用して天晴れ父の分迄も働いてくれよ。』と遺言して締切れたのであります。

孝子右衛門七は父の最後の言葉を守りその腹巻を着込み、父の戒名を書きつけた紙片を兜頭巾に入れて一黨と共に討入つたのでありました。

忠臣は孝子の門に出づと申しますが、洵に其の通りであります。

以上のやうなわけでありますから、岡野及び矢頭の兩人は肉體の父は存せずとも、靈魂の父はその子と諸共に恨み重なる吉良の屋敷に討入つたのであります。

至情がさせた機敏な假繃帯

藤井上等兵の沈着

八月廿六日モホレヒ湖附近の戰鬪はノモンハン事件中でも有數の激戰でわが方の陣地は終日敵の集中射撃で濛々たる砲煙に蔽はれてゐた、この戰場を馳驅して或は敵の第一線陣地に、或は戰車を伴ふ逆襲部隊に一彈毎に痛快なほど的確な砲撃を食はせてゐた佐久間分隊の砲側一米に敵の盲彈落下轟然たる音響と共に炸裂し佐久間分隊長以下七名は折り重つて砲側に打ち倒れた六番砲手として的確な射撃を謳はれてゐた明石部隊藤井敬三郎上等兵も衝撃を受けて投げ出されたが、屈せず立ち上り硝煙に四面眞暗の中を「佐久間分隊長殿」と呼びつゝ匍ひ寄り、顏面に重傷を負ひ鮮血に塗れた佐久間分隊長を抱き起し機敏にも假繃帯を施し爆煙の收まる頃には完全に手當を終つてゐた、この勇敢にして機敏な行動には後に假繃帯を點檢した衛生兵も「上官を思ふ至情からこそ出來たのだ」と感歎した

死に臨んで尙續ける復唱

壯烈田中上等兵

八月廿二日哈爾哈河を渡河越境した敵機械化部隊歩兵約六百は戰車卅輛を先頭に第一線を死守する○○部隊の側背から多勢を恃んでひた押しに包圍攻撃を開始した、明石部隊田中幸七上等兵は第○隊梶原上等兵の指揮に屬し○隊との連絡に任じ戰車砲彈猛烈に身邊に炸裂する中を砂塵を浴びて飛鳥の如く命令を最も迅速且つ確實に傳達してゐたが午前十一時に至り敵戰車九輛が陣地後方から進入し來り連絡は全く絶望とされるに至つた、この連絡が絶たれては第一線は全滅の他はない、決然として起つた田中上等兵は○隊長の意圖を體して脱兎の如く彈丸をくゞつて○隊に至り命令を傳達し終つて「復唱」に入らんとする時、飛び來つた敵戰車砲彈は田中上等兵の足下に炸裂しどつとばかりに打ち倒れた、「しつかりしろ」○隊長が驅けよつて抱き上げれば田中上等兵は朦朧たる意識の中に尙復唱を繰り返しながら遂に壯烈な戰死を遂げた、○隊長は落ちる涙を打ち拂つて「田中お前の傳へた通り射撃するぞ」と叫ぶや命令を下して射撃を繼續すれば彈丸は田中上等兵の魂こもるが如く次々に命中して敵の攻撃企圖を完全に粉碎した

民生部で日系教師募集

滿人家庭の向學熱に伴ひ年年學校數が激增しつゝあるが、民生部ではこれ等第二國民の教育に日滿不可分、民族協和を基幹とする國家精神を確立する爲傷病勇士の中等教師募集と相俟つて廿五日から來年一月十五日まで日本各府縣廳、專門學校、中等學校を通じて日系教師の第四回募集を開始した募集人員は初等學校教師約二百名、中等學校教師約百五十名、資格は初等學校教師は農學校、商業學校、中校學校卒業者及び來年三月卒業見込みのある者又は之と同等以上で廿五歳未滿の男子、中等教師は專門學校以上の卒業者及び來年三月卒業の見込みある者又は之と同等以上の學力ある年齢滿卅五歳以下の男女子、採用決定は三月十日で採用後は新京中央師道訓練所で講習訓練の上各校に配給することになつてゐる

國都あげて弔意
けふ護國の英靈南下

十二日本年掉尾の哀悼日を迎へた國都では朝來早くも各戸に掲げた弔旗も悲しく全市民齊しく自肅自戒の意を表したが、午後二時十分吉林方面より、同三時十分哈爾濱方面よりそれぞれ國防第一線に散華した忠勇殉國の英靈〇〇柱が到着、驛頭各種團體軍官民多數の出迎を受け沿道市民の默禱裡に肅々たる歩を敷島通に進め西廣場滿鐵社員倶樂部に安置された、引續きしめやかな讀經が執行はれ、午後九時からは慰靈祭と御通夜が行はれたが、けふ十三日午前十時三十分發列車で南下聲無き凱旋をする【寫眞は御通夜場】

留置場を出て直ぐ盗む

十二日午後三時二十分頃中央通署中野刑事は三笠町四ノ一四朝鮮忠淸北道生れ姜祖女（六四）同女次男金洪吉（一九）を窃盗の嫌疑で自宅より本署に引致取調べたところ、老婆は去る十月卅日夜同署衛生係員の麻藥密賣者檢擧に際して現場を踏込まれて逮捕され留置取調べを受けてゐるうち、同監房で同樣留置されてゐた隣家の李永愛（三〇）が送局される前、家に現金三百五十圓隱して來たのを誰も盗みはしないかと洩したのを聞込み數日前微罪處分で釋放されるや伜の金と共謀十二日午前二時頃侵入家中を引掻き廻した擧句炭箱の中から新聞紙包の三百五十圓を見附け出して自宅に隱匿何喰はぬ顏してゐるのを李永愛の隣家崔某が留守だと思つてゐた同家が眞夜中ガサ／＼物音がするので眼を覺まして目撃一什始終を訴へ出たものである

獨は前大戰に比し非常に好條件
大島前獨大使歸朝

【東京國通】十二日歸朝した大島前駐獨大使は現下の歐洲情勢その他に關し大要左の如く語つた【寫眞は大島氏】

□今次□ 歐洲戰爭は容易に勝負を豫測することは困難であるが自分の觀るところではドイツ側にやゝ分がある樣に思はれる、何となれば今次戰爭は前大戰と異りドイツの敵は英佛二ヶ國で一表面作戰であること、ドイツは既に歐洲の穀倉といはれるポーランドを掌中に收め又バルカンにも進出してゐるため食糧に相當惠まれてをること、前大戰當時のドイツは短期戰の準備のみだつたが、今回は長期戰に對する態勢が整つてをること、更にその裝備は

□萬全□ であることなど幾多の點からドイツ側は前大戰當時に比し頗る好條件にあるといへる、獨伊の關係は依然緊密であり、何等變化はないと思ふ、又獨ソの關係については輕々に斷定し得ないがドイツが現在の狀態である限り獨ソの關係も亦現在のまゝであらう、又ソ聯としてはフィンランドをはじめバルチック沿岸に出やうとしてをり又對日接近を欲してゐることは事實であるこれに對し日本は先づソ聯をして援蔣工作を止めさせ支那から手を退かしめることが先決問題であると思ふ今次歐洲戰爭に對し日本が如何に對處すべきか先づ國策を明確に

□樹立□ するとゝもに戰爭後に來るもの即ち思想、經濟、軍事等々の變革に對し將來打つべき手を準備して置かねばならないと思ふ

龍田丸歸朝者

【横濱國通】本年掉尾の郵船サンフランシスコ航路龍田丸は前駐獨大使陸軍中將大島浩氏、歐米巡遊の藤原銀次郎氏、歐米講演の豫備陸軍少將大場彌平氏、航空界視察の滿洲飛行機製造會社理事長前原謙次氏、初代駐日ハンガリー公使ゲオルグ・ドゥ・ゲカ氏等六百四十六名の船客を滿載し十二日朝ホノルルから横濱へ歸港した

百貨店組合を結成
輸入機構も代行
あす準備會を開催

配給統制强化、生活必需品配給會社擴充、日本に於ける對滿輸出統制の一元化に伴ふ輸入物資の手當難等に商工業者は各々局面打開についての眞劍なる研究を進めつゝあるが、消費物資を大量仕入れ販賣を行ふ百貨店においてはこれ等統制强化の波紋を免れるを得ず全滿百貨店業者は屢々百貨店懇談會を開催、對策に腐心してゐたが、結局强力なる百貨店組合の結成を行ひ更に研究を進めるべく近く全滿百貨店組合を結成することゝなつた、同百貨店組合は關東州をも含む全滿主要都市における百貨店を網羅し生活必需品については必需品配給會社よりの配給を一括入手し組合員に之を配給、非生活必需品に付ては日本輸出組合より直接配給を受けんとする輸入組合の代行機關ともなしたき意向で全滿百貨店組合の結成下準備打合會は來る十四日午後三時より國防會館において開催、經濟部よりも稻次商事科長出席、當局の意向組合側の意向について相互意見の交換を行ふことゝなつた

娘心狂言物語
警察官あきれるの巻

母親がモヒ密賣で捕へられたのを娘心の母戀しさに恨み何とか警察を非道い目に遭はせてやらうと考へ出したのがとんでもない「現職警察官三人組强盗事件」の訴へであつた、即ち十二日午後三時頃長通路署管下興運路派出所へ息も絶え／＼となりながら轉げ込んで來た半島娘が所員に「たつた今私の家へ制服を着た滿人警察官三人組が押入つて、拳銃を胸へつきつけトランクを薪割で壞し現金百五十圓を强奪して逃走しました」との訴へに所員は驚きながら住所、犯人の人相着衣を尋ねると右は太平街三三李素珍（三五）の娘雅鳳（一六）と云ひ、犯人のうち一人は警尉補の制服制帽で近視眼鏡、マスクを掛け他の二人は何れも肩章、劍もなく黒眼鏡、マスクを掛けてをり、逃亡せんとする際「俺達は中央通署の者だ訴へるな！」と云ひ殘して行つたとのことに驚き本署に急報、中司法主任は直ちに本廳搜查股と連絡を取る一方中央通署へ右の旨通報し現場へ急行した

中央通署でも事件を重大視し取敢へず早田警尉等を現場に急行せしめ、搜查股、長通路、中央通兩署員一同受難の雅鳳を圍んで當時の模樣を專門的に詳細聽取してゐるうちに雅鳳は事が意外に大きくなつて來たのに魂消てか泣きぢやくり「みんな嘘よ、母さんを連れて行つたから仇をとらうとしたのよ」と自供するに至つて一同あいた口が塞がらずしばし呆然となりながらも事情を追及すると、八日午後母親李素珍（三五）がモヒ密賣中を長通路署員に發見檢擧されたので二人くらしなところから悲嘆に暮れた末警察を恨み考へついたのがこの芝居と判明、そんなに母親が戀しければと雅鳳を本署に連行、母親とは別な監房へ留置されて眞ッ晝間全市に非常線を張らんとしたさしもの强盗事件も訴へ出てから三時間にして鳧となつた

暗も心で明るく
街の鈴蘭電燈一部消える
商店街も節電參加

國策節炭運動の線に沿つて電氣協會や新京商工公會が主唱してゐた電力節約運動は十一日から協和會首都本部が實施してゐる富家强國强調旬間と呼應し、いよいよ十二日から商店街の鈴蘭電燈を半減燈するといふ電力消費合理化運動から具體化されることになつた、これは日本橋通、吉野町、東一條通、東二條通、祝町、ダイヤ街方面の鈴蘭電燈は夜十一時以後は一基置に、また中央通、大同大街、豐樂路、興安大路方面では二燈ある街燈は全部一燈消燈するもので、前者の千戸近い商店街だけは廿一日から來春松の內三日までは歲晩の繁忙とお正月氣分を尊重する意味から全夜全燈差支へなしと氣を利かせてゐるなほこれに就いて協和會首都本部では一般家庭でもこの趣旨に倣つて電力資源愛護とその消費の合理化に協力することを希望して居りかくて採煖期を終るまで「暗い國都を心で明るく」に全市民足並み揃へることになつた

毎日の墓守りに
銃後少女の至情
南嶺に咲薫る美談

乙女らしい優しい心根から誰にも語らず毎朝毎夕興亞の聖業に尊い一生を捧げた英靈の墓守りに感激の奉仕をつゞけてゐる愛國女學生の涙ぐましい銃後美談、國都南嶺陸軍衛戍官舍軍屬西土戸一氏長女新京錦ヶ丘高女四年生房江さん（一六）は「私達かうして滿洲國の樂土で安心して暮せるのはみな遠くは日淸日露の兩役、近くは滿洲事變で尊い大陸の華と散られた幾多の兵隊さんのお蔭だ」と自分の家が南嶺なのを幸ひに南嶺戰跡淸掃と勇士の墓守り日參をお友達同校三年生山下君代（一五）高野道子（一五）同一年生山下たまゑ（一三）さんら仲好しグループと申合せ、昨年七月以來夏休みの四十日間一日も缺かさず早朝から戰跡の掃除を行ひ立ち並ぶ勇士のお墓を巡拜、手向けの花束を捧げて英靈に感謝の誠を捧げたのであつた、やがて永い夏休みも終り秋風吹く二學期に入つて仲間としての奉仕は終つたが、西土さんのみはその後とても一日も缺かさず炎天の日も酷寒肌を刺す頃も登校前と歸宅後に必ず墓參、一年半に亘る長期奉仕をつゞけてゐたのを栗山南嶺戰跡保存會々長が聞き知り十一日わざ／＼西土さんの家を訪れ兩親にこの旨を傳へ感謝狀と御褒美を贈つて美はしい行爲を讃へたうへ十二日靑木校長にも報告したので「われらの誇り」と全校擧げて賞讃の的となつてゐる【寫眞は墓邊の西土さん】

岡田參事官

安東稅關長より民生部參事官に榮轉の岡田文雄氏は十四日ひかりで新京へ着任する豫定

北支滿人難民救濟
協和會
本格的に乘出す

滿洲事變當時北支方面に避難した滿洲人困窮者の相互援助團體として支那事變勃發以後北京を中心に結成された滿洲同鄕會（現在會員約一萬人）の取扱ひに關しては同會よりの再三にわたる救濟陳情に對し滿洲國關係機關で種々考慮されてゐたが、戰禍の擴大と天津地方水害の結果、最近北京方面へ滿洲人難民が殺到困窮者が愈よ續出の有樣なので取敢へず協和會で一肌脫ぐことになり十二日右難民救濟費として外務局を通し一萬圓を送達した、なほ今後の對策については目下政府と協和會の間で難民救濟委員會の如きものを設立して難民の滿洲送還及び現地救濟をなすべしといふ意見もあるがこれらの難民を一概に滿洲居留民として取扱ひ得ざる現狀にあるため如何なる救濟策を講ずるか今のところその處置に頭を惱ましてゐる

久原總裁
きのふ來京

十二日夕刻日滿連絡機で來京した久原總裁並に芳澤元外相、大口、西川兩代議士の一行は新京には二日滯在するが十三日新京神社、忠靈塔を參拜の後、軍司令部國務院を訪問挨拶、正午よりは滿業總裁、午後六時よりは國務總理招宴に出席、十四日正午は中銀總裁の午餐會に出席の上夕刻梅津軍司令官並に飯村參謀長と會見する豫定である、なほ十五日午前七時發の飛行機で新京發北京に向ふが次いで天津、南京、上海を廻り汪兆銘氏を始め臨時、維新兩政府要人と懇談を遂げ廿七日までに東京に歸着する豫定である【寫眞は向つて右より芳澤、大口、久原、西川の諸氏】

奉哈間走破の
滿鐵自動車隊出發
七百粁の酷寒行

耐寒輸送試驗と路面調査を兼ね零下二十數度の酷寒迫る奉天哈爾濱間七百キロを五日がゝりで走破しようといふ哈鐵自動車課のヘヤ西一四四號以下バス混編の奉天—哈爾濱間耐寒走破隊は十二日早朝奉天鐵道總局前に二列縱隊に勢揃ひし同九時五十分エンヂンの音も勇ましく壯途に就いた、バスは全部國產の新車で北安の氷上輸送に當局から哈鐵に配車されたが、貨車不足に因る輸送難の折柄七百キロ路線の開拓觀察と耐寒輸送試驗を行はんとするもので奉天新京間は前例もあるが、奉天哈爾濱間は今回がはじめての試みであり新京以北特に結氷した第二松花江の渡渉の經驗が期待されてゐる、一行は哈爾濱自動車區加賀助役を會長に運轉手三十名、始動員六名、修結員四名、警備員六名等總勢六十餘名で、煖房設備のない車內の事とて何れも防寒紙に鑵詰を押し込め、頭から足の先まで防寒づくめのいでたちだつたが、十二日鐵嶺を經て開原一泊、十三日西安、十四日新京一泊、十五日九臺を經て第二松花江を渡り、三岔河一泊、十六日哈爾濱着の豫定である

大阪側業者も
對滿投資意向
＝富田興銀總裁歸京談＝

約卅日間にわたり東上日滿實業協會評議員會並に東亞經濟懇談會滿洲本部側を代表、李交通部大臣と共に同懇談會に列席、歸途九州における經濟講演を行つた富田興業銀行總裁は十二日午前十一時四十二分着のぞみで三女くに子（二一）四女はな子（一八）の二令孃を同伴歸京、左の如く語る

東亞經濟懇談會は昨年の日滿支經濟懇談會よりは質的にも見るべきものがあつたやうだ、今後尙機構整備の問題が殘されてゐるが年內には一應の體制は整ふものと見られるのだが、暫定的に日滿實業協會だけが滿洲本部の構成員になつてをるといふものゝ東亞經濟懇談會と日滿實業協會とが統合するといふのではない、對象地區の廣狹もあり前者は飽く迄儀禮的、政治的團體であるし、後者は實質的經濟團體だから併立する方が適當だ、この意味と同じく日滿中央協會と日滿實業協會との統合等全く考へられないし希望もしない、東亞經濟懇談會は明年日本政府から八萬圓の補助がある筈だし、滿洲國政府からも相當額の補助があり會員費も集ることだしするから本年より更に大規模なるべく單に日滿支のみならず、ビルマ、新興泰國等にも招請が發せられると思ふ、日本の對滿投資熱は東上する毎に顯著なるものがあり、大阪邊の證券業者等も將來は東京資金網と同等のレベルにおいて折衝して欲しい意向を有してゐるやうだ、日本興銀とも明年度の滿洲興銀團資金調達について正式にではないが本年度の二千萬圓に比し相當程度增額して貰ふやうに諒解を求めて來た

重點縣事務長
會議終る

協和會重點縣事務長會議二日目十二日は前日に引續き午前九時半から中央本部第一會議室に再開、午前中は十一重點縣の工作經過に對する熱心な批判研究が行はれて正午一旦休憩、午後は一時半から續開して明年度會運動要綱に對する懇談、各部科より指示連絡等が行はれ七年度重點縣工作の參考となるべき種々の成果を收めて四時半閉會した

鐵工業組合成る

新京地區鐵工業者（日滿系共）三十名は鐵材、鐵板配給の業者側割當の公正化、闇取引による價格昂騰を防止するため十二日國防會館において鐵工業組合を結成したが更にゴム材の價格騰貴、ゴム資材の拂底に伴ふ闇取引防止並に配給の適正按配を期するため、新京地區ゴム工業者の組合は來る十五日午前十時新京商工公會において結成することゝなつた

千鳥藝妓ドロン

富士町二ノ二二料亭千鳥抱へ藝妓福助こと佐世保市宮田町二八生れ熊谷ハル子（二三）は十一日午前九時頃髪結に行くとて外出したまゝ歸宅せず、同店では前借千六百圓を踏み倒して逃走したのではないかと十二日中央通署へ搜查方願出たなほ福助は前夜登樓した客から二百圓を貰ひ衣類を持ち出して入質相當金額を都合した上日本紙幣と兩替してゐた形跡あり情夫と手に手をとつて內地へ高飛びしたのではないかとみられてゐる

木炭瓦斯中毒死

十二日午前八時頃興仁大路第十二代用官舍植木組工事現場に就寢した山東省生れ徐工寧玉斯（三五）が黑焦げになつて死んでゐるのを從業員が發見、この旨順天署に屆け出たので檢證を行つた結果、乾燥用石油罐の炭火を室內に持ち込み暖火してゐる中木炭瓦斯に中毒して倒れ衣類に引火して黑焦げとなつたものと判明

滿洲學會例會

滿洲學會では十二日午後四時半から滿日文化協會で例會を開催、藤山國立博物館副館長の「日本に於ける博物館施設」と題する視察談を聽いた

岡本大佐東上

【下關國通】今事變勃發以來北支に奮戰、徐州開戰以來漢口攻略に至る間東久邇宮殿下の麾下として赫々の武勳を樹て同殿下御歸還に際し御奉仕申上げ、歸還して後ノモンハンに部隊長として爆彈の雨を降らせ敵膽を寒からしめた岡本淸福大佐は今回ドイツ國大使館附武官に榮轉したので、十二日朝下關入港の關釜連絡船で歸朝同九時廿五分發列車で東上したが、途中大阪に下車、戰歿部下遺族を慰問の上十五日東京着の豫定

動亂の歐洲地圖【東京國通】海軍軍事普及部ではこのほど動亂の歐洲地圖を作成、横二米、縱一・五米の色刷のもので各國海軍根據地が明示してあるのが特長で近く內閣印刷局を通じて希望者に頒布する

天氣と氣溫

淺春胡同【十】

工　清定
白崎海紀(繪)

百さん　(3)

このそこはかとなく胸にひろがつて行く陰欝な、煙幕を吹き拂ふやうに、千也子がビクトロラに『婦人愛國の歌』をかけて、ホールの電燈を點じた。その時だつた。和服にオーヴアをひつかけた、黒田がはいつて來たのは。

「あら、いらつしやい……。」

(をかしいわ、黒田さん。まあまたそんな風姿なんかして。だけど、今晩は百さんのさきだつたのね。)救はれたやうに駈寄つた彼女の、輕くはづんだ心が、ひたむきな黒田の面持に、脆くも萎縮した。

今晩の黒田は無遠慮と思はれる程、奥深くへづかづか進んで、滿洲人たちの隣卓の椅子に、どつかと腰を下した。すると今まで早口に囁き交はしてゐた滿洲人の口が、一齊に閉ぢてしまつた。

「ハッタカでせう。」

千也子が心得顔に訊いたけれども、おし默つてゐる黒田の兩手が、支へた顔から、緊張した表情は消えてゐなかつた。その視線を逆にだぐつて行くと、右隣の卓に行きあたつた。

卓の上では六本の滿洲人の手が、すでに空になつた珈琲茶碗の把手を取つたり離したり、煙草をつまんだり、燐寸を手玉に取つたり妙な沈默の中に、雜然と慌しく動いてゐた。

まるで水でも呑むやうにハクタカの盃を傾けてゐた黒田が、手持無沙汰に、オーヴアのポケットの煙草をさがしてゐると、カウンタアの電話機のベルが、けたたましく鳴り出した。

「ええ、いらつしやいますわ。」

と電話を受けた千也子が黒田を呼んだ。

「黒田さん、お電話ですよムラサキさんとか言ふ方…變なお名前ね。」

ちえつ!と舌打ちして起ち上つた黒田は、ベルが鳴つた瞬間、一層そはそはし出した滿洲人の様子を、横目で睨みながら電話機にかぢりついた。

「うん、さう。何、遅れるつて、そいつあ困つたな。實は俺もいま急用が出來さうなんだよ。は、は、は、馬鹿言つてる、そんなんぢやないよ……。」

送話口へ向いてゐた時、あんなにもにこやかだつた黒田の顔が、受話器を架けてくるりと向きをかへた刹那、恐しく急角度に變つてしまつた。

「や!千公。ここの連中かへつたのか?それぢや俺もすぐ出なくちやならない。勘定は今電話した男から貰つてくれ!」

こんなことを言ひ出す客を、扱ひつけない彼女が面喰つてゐると、黒田は苦笑しながらつけたした。

「ふ、ふ、ふ、村崎といふ男が、すぐここへ來るんだ。社の男さ。」

黒田は鉛筆で、さらさらと字を書いた紙切れを、卓に載せて出て行つた。

「俺、錢を持つて來なかつた、譯は村崎に聞いたらわかるんだ。」

扉を押しながら、ふりかへつた黒田が、慌しくそんなことを言つた。

それから四五分後、ルミが出勤して來た。

「ほ、ほ、ほ、をかしいつたらありやしないわ。黒田さん、ついそこであたしに飛びついて、ギザ一枚貸せなんて、眞顔でいふのよ。千ちやん、あんたどうして貸してあげなかつたの。」

ルミが意味ありげに笑ふと、わけもなくあかくなつた千也子は、『村崎哲也』と亂暴に書きなぐつた黒田の筆蹟を、そつと見直した。

列車發着表

○大連方面行
△大連行 前二時三十分
△奉天行 六時廿五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時卅五分
△大連行 九時三十分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十一時三十分
△奉天行 後一時五分
△大連行 一時四十分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△四平街行 四時五十分
△釜山行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十一時三十分

○哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十三分
△德惠行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十三分
△哈爾濱行 三時十五分
△哈爾濱行 五時三十分
△德惠行 七時十分
△哈爾濱行 十時卅五分
△牡丹江行 十一時四十五分

○圖們方面行
△吉林行 前七時五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△淸津行 十時五分

○白城子方面行
△白城子行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△前郭旗行 後五時三十分

○大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△大連發 六時十八分
△奉天發 七時四十五分
△大連發 八時
△四平街發 八時四十六分
△四平街發 九時四十分
△四平街發 十時卅二分
△釜山發 十一時四十二分
△奉天發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時二十分
△大連發 五時二十分
△營口發 六時四十八分
△大連發 八時二十分
△奉天發 九時廿五分
△釜山發 九時四十五分
△奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より
△德惠發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△牡丹江發 六時五十四分
△哈爾濱發 七時五十四分
△德惠發 十一時三十分
△哈爾濱發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 二時十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時三分

○圖們方面より
△淸津發 前七時五十三分
△吉林發 十一時廿四分
△牡丹江發 後二時十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

○白城子方面より
△前郭旗發 十二時一分
△白城子發 後六時卅二分
△白城子發 九時五分